

# 現場説明書

1 工事名 横須賀美術館外壁その他改修工事  
2 監督員 都市部 建築計画課

(建築)

## 説明事項

### 1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

### 2. 契約の保証について

#### 契約の保証

要

不要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
- (2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
- (3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、市長が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書
- (4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
- (5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

### 3. 前払金について

#### 前払金

する

しない

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

### 4. 中間前払金について

#### 中間前払金

する

しない

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

### 5. 部分払について

#### 部分払

する(一回以内)

しない

### 6. 繼続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について

- (1) 繼続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度(令和7年度)	40%	支払限度額の全額
第2年度(令和8年度)	残り全額	支払限度額・請負代金額の%
第3年度(一 年度)	%	支払限度額・請負代金額の%

- (2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。

## 7. 契約に関する事項について

### (1) 設計図書関係

ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。

イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段について、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。

ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とじし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあっては、別冊とすること。

### (2) 提出書類関係

ア 請負代金内訳書 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要

イ 工 程 表 要提出(契約締結後7日以内)  
提出不要

ウ 着 手 届 着手後5日以内に提出すること。

エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。

オ 下請負関係書類 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。  
・施工体制台帳  
・施工体系図  
・再下請負通知書(再下請負の発注がある場合)

カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

### (3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

### (4) 支給材料、貸与品関係

ア 支 給 材 料	あり	なし
イ 貸 与 品	あり	なし

### (5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

### (6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続きを行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続きは、工期の末に行う。

### (7) 部分引渡し関係

部分引渡し指定部分 あり なし

### (8) 火災保険等の関係

火災保険その他保険の付保条件 あり なし

## 8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ>市政情報>入札・契約制度>入札制度（工事）において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

## 9. コリンズの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、そのデータを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

## 10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済制度(以下「建退共制度」という。)に加入するとともに、その対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。
- (2) 証紙購入状況等を把握するため、当初工事請負契約代金額が500万円以上の場合は、別に定める「建設業退職金共済関係提出書」(第1号様式(建退共))及び「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第2号様式(建退共))を工事請負契約締結後1箇月以内に監督員へ提出すること。  
共済証紙を購入した場合は、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第2号様式(建退共))に掛金収納書(以下「収納書」という)を添付すること。  
なお、当初工事請負契約金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料の提出を求める場合がある。
- (3) 正当な理由がなく建退共制度に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は、工事成績評定において考慮される事となる。
- (4) 下請契約における請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を請負代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、建退共制度加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (5) 前号における請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合は、元請負者に建退共制度加入手続及び建退共制度関係事務の処理を委託する方法もあるので、元請負者は積極的に受託するよう努めること。
- (6) 請負者は、工事現場に建退共制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。

## 11. 施工計画書の提出について

### (1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後監督員の指示に従って施工計画書を作成し、工事着手までに提出すること。ただし、次のいずれかに該当する工事については、施工計画書の記載内容を一部省略することができる。

ア 当初請負代金額が1,000万円未満かつ当初工期が90日以下の工事

イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事

### (2) 施工計画書の記載項目

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ>市政情報>契約・検査>検査・工事積算情報>検査情報に記載（施工計画書について）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の一部を省略した工事で、監督員が必要と指示した記載項目については追加すること。

### (3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

### (4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

## 12. ワンデーレスponsの取り組みについて

### (1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスponsに取組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

### (2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

## 13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が隨時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

## 14. 下請負者について

### (1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するよう配慮すること。

### (2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

## 15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。

## 16. 技術的事項について(別紙)

## 請負工事仕様書

工事名	横須賀美術館外壁その他改修工事
工事場所	横須賀市鴨居4丁目1番地
工 期	247日
工事概要	本工事は横須賀美術館外壁その他改修工事 であり材料・手間共一式請負とする。
工事仕様	一般共通事項及び特記仕様書は別紙による。
工事内容	美術館改修工事 外壁その他改修 外部鋼製建具改修 低層部屋根改修 光庭改修 サイン改修 発生材処理
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺道路及び指定場所以外は、駐車を含め使用を禁止する。</li> <li>・ 設計書の疑義は、本市の解釈による。</li> <li>・ 仕様書、別紙図面、内訳書に記載なき事項でも、工事上及び技術上当然必要ある資機材は補足し、遅滞なく工事を遂行し完了させること。</li> <li>・ 本工事起因による周辺道路及び周辺家屋の損害は、請負業者負担により速やかに復旧すること。</li> <li>・ 積算基準については、横須賀市ホームページ&gt;産業・まちづくり&gt;都市整備&gt;土地・建物&gt;建築工事等の積算基準についてをご確認ください。  <a href="https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4827/sekisankijyun/sekisankei.html">https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4827/sekisankijyun/sekisankei.html</a> </li> </ul>

# 建築・建築設備工事 一般共通事項

令和7年4月1日

## 1 一般事項

### (1) 共通仕様書の適用範囲

本工事は、本市契約規則等に基づき、特記によるほか、新增改築工事においては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）、（電気設備工事編）及び（機械設備工事編）－令和4年版－」、補修改修工事においては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）、（電気設備工事編）及び（機械設備工事編）－令和4年版－」に準拠する。

ただし、補修改修工事において、軽微で少量の施工箇所で、安全上支障のない場合は、監督員と協議のうえ、上記仕様書に記載されている各工程の一部及び試験などを省略することができる。

### (2) 軽微な変更

現場の納まり、取合いなどの関係で材料の寸法、取付け位置又は取付け工法、あるいは数量等の増減で軽微な変更は市監督員（以下「監督員」という。）との協議による。

### (3) 本市指定様式

「横須賀市ホームページ」>「申請書ダウンロード」>「建築計画課の書式」にて掲載。（使用時に最新版を確認）

### (4) 官公署その他への手続き

工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行う。これに伴う費用は本工事の請負者（以下「請負者」という。）の負担とする。

### (5) 別記について

本工事にて特に必要な追加事項については別記として以下を本仕様書に添付する。

- 別記1 支給材料
- 別記2 貸与品
- 別記3 部分引渡し
- 別記4 部分使用
- 別記5 保険
- 別記6 ~~返納すべき発生材~~
- 別記7 完成写真
- 別記8 メーカーリスト

## 2 工事現場管理

### (1) 災害及び公害の防止

ア 施工中の安全に関しては、建築工事安全施工技術指針を参考に常に工事の安全に留意し、現場管理を行い、災害及び事故の防止に努める。

イ 工事用車輌の搬出入が頻繁な日時は専任の交通誘導員を要所に配置し、付近住民及び施設利用者等の安全な通行に努める。

ウ 工事用車輌の搬出入に起因する現場付近の道路等の汚れは随時清掃し、本工事車両に起因する損傷箇所は速やかに復旧する。

エ 作業に伴う騒音、振動、煤煙、ほこり等、又仮設物による電波、日照障害についてはあらかじめ配慮し、公害の防止に努める。

オ 騒音、振動については、「建設工事公衆災害防止対策要綱」に準拠するとともに、関係法令を遵守すること。

### (2) あと片付け

工事完成に際しては、工事用用地及び仮囲いの外周（1.0m）を原形に復旧する。

### 3 記 錄

#### (1) 材料の品質検査

材料の品質検査は使用前に監督員の検査を受ける。又工事材料内訳書は本市指定様式により書面およびエクセルデータで提出する。

#### (2) 工事報告書

工事報告書（工事出来高表、工事進捗写真、工事月報、工事日報）は監督員の指示がある場合に、本市指定様式により毎月提出する。

#### (3) 工事記録写真

工事記録写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック(建築工事編・電気設工事編・機械設備工事編) 令和5年版」によるほか、監督員の指示により下記を電子媒体で提出する（原則として印刷物は提出不要）。

ア 工事着手前の状況。

イ 施工中の工事進捗過程（完成まで）。

ウ 施工状況で特に報告の必要のある場合。

#### (4) 完成図、その他

建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事については、本工事完成引渡しと共に完成図書を電子媒体にて提出する。また、当該施設に完成図書を1部作成し引き渡す。

電子媒体はCD-RまたはDVD-Rとする。内容は完成図（しゅん工図）、施工図、製作図、製品完成図、書類等とする。

データの種類について、完成図（しゅん工図）についてはCADデータとCAD図をイメージデータ化したものとする。完成図（しゅん工図）以外についてはイメージデータ化したものとするがExcel、Wordで作成されたものについてはそれぞれのファイル形式とする。

拡張子について、CADデータはDXFまたはDWG、イメージデータはPDFとする。

提出する電子媒体について、納品前にウィルスチェックを実施し、媒体のラベルにウィルスチェックに関する情報を記載する（ウィルスソフト名、ウィルス定義、チェック日）。

### 4 環境への取組み

#### (1) 環境マネジメントシステム

請負者は、横須賀市環境マネジメントシステム(Y E S)の環境方針を十分理解して、工事現場から生じる騒音、振動等の建設公害、建設廃棄物の排出による処分場への負担、熱帯材型枠の使用による地球温暖化などの環境負荷を低減するために次に掲げる事項に留意して、地球環境の保全に資するよう努めなければならない。

#### (2) 無石綿（アスベスト）化への対応

使用建材については、アスベストが含有するものを使用しないこと。また、下請負者を使用する場合は、同様の内容を周知し、徹底を図ること。

#### (3) 環境問題意識の啓発

請負者は、現場の職員、従業員及びこの工事に関連するすべての業者に対して工事管理会議などの機会を通じて、環境改善のための教育講習会を開催し、各人の環境問題意識の高揚に努めなければならない。

なお、監督員が指示した工事については、実施した教育講習の内容を工事日報、工事監理日誌などに記録して監督員に提出する。

#### (4) 廃棄物の適正処理等

請負者は、建設工事に伴い発生する廃棄物について、別添「建設廃棄物の取扱及び建設副産物実態調査に係る特記仕様書」に基づき発生抑制、再利用・再資源化、適正処理に努める。

<p>(5) 热帯材型枠使用の削減</p> <p>(6) グリーン購入法</p> <p>(7) フロン排出抑制法</p>	<p>本工事で使用するコンクリート型枠用合板は、従前から使用している热帯材を原料とする合板（热帯材100%のもの）は使用しないものとする。</p> <p>これに替わるコンクリート用型枠は、针葉樹林型枠、複合型枠（以下「複合合板型枠」という。）など热帯材100%合板型枠以外のものから工事の作業条件等を考慮して、請負者の責任と費用負担により選択するものとする。又複合合板型枠を使用する場合は極力塗装仕上げをされたものを使用し、その型枠の転用（再使用）の増加を図る。</p> <p>請負者は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」に基づき、環境負荷の低減に資する環境物品の調達に努める。</p> <p>なお、監督員が指示した工事については、「グリーン購入実績報告書」（本市指定様式）を監督員に提出する。</p> <p>フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）に基づき、オゾン層の保護及び地球温暖化の防止に努め、工事により発生したフロン類廃棄物は適正に処理し、フロン類回収登録業者より処理受領証明書を受け監督員に提出する。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 工事表示板等の設置</p> <p>(2) 公共サイン等の表示・設置</p>	<p>公共建築工事（又は公共建築改修工事）標準仕様書によるほか、工事請負金額1,000万円（消費税を含む）以上の工事については工事表示板を、新築工事で100m<sup>2</sup>以上のものについては工事看板を設置する。（表示板等仕様については「申請書ダウンロード」に掲載。）</p> <p>本工事の一部に公共サイン等の表示・設置が含まれている場合は、横須賀市屋外広告物条例第26条第1項により屋外広告業の登録を受けた者又は、同条例第28条の6第3項により届出を行った者が行うこと。</p>

## 別記4

## 部 分 使 用

番号	建物、部屋等使用部分	数量	単位	使用条件	使用予定期間	備考
1	レストラン・ショップ 棟北面 外壁・外部鋼製建具・上部庇・屋根 (図面A-22参照)	1-	式	部分使用検査	部分使用検査合格日 からしゅん工日	部分使用に係る品質証明等の確認用書類は検査対象
2	谷内六郎館西面 <sup>エ</sup> ントハウス外壁 (図面A-24参照)	1-	式	部分使用検査	部分使用検査合格日 からしゅん工日	
3	谷内六郎館南面外壁 (図面A-29参照)	1-	式	部分使用検査	部分使用検査合格日 からしゅん工日	
4	谷内六郎館 <sup>エ</sup> ントハウス屋根 (図面A-72参照)	1-	式	部分使用検査	部分使用検査合格日 からしゅん工日	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

R7.7.28

## 工事における「環境に配慮した公共工事の推進」に関する特記仕様書

本工事の実施にあたっては、下記の項目についての現場での環境配慮の取り組みを積極的に推進することを心がけること。

なお、貴社が I S O 1 4 0 0 1 を取得している場合は、認証内容を監督員に説明し相互理解に努めること。

- 1 地球温暖化防止、工事現場周辺住民への環境配慮に資するため、場内での車両のアイドリングストップ等に努めること。
- 2 場内で発生する一般廃棄物や産業廃棄物について、分別を徹底し、資源として再利用できる物は再利用し、廃棄すべき物は適切な処理を行うこと。
- 3 現場から搬出する建設副産物及び利用する資材については、建設副産物にかかる特記仕様書に従い、「再生資源利用（促進）実施書」にもれなく記載すること。
- 4 現場で利用する資機材等は、設計図書及び「横須賀市グリーン購入調達方針」（横須賀市のホームページ <https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0830/green/tyoutatu.html>）の品目を参考にすること。
- 5 工事箇所の現場状況を充分考慮し、自然環境の保全に努めること。
- 6 施工に際して、建設廃棄物の発生抑制を心がけること。  
また、建設発生木材、建設汚泥についても発生抑制、再利用の方法を検討し、できるだけ廃棄物が生じない工夫を行うこと。

横須賀市グリーン購入調達方針に基づく特定調達品目

＜公共工事＞

資材	建設汚泥から再生した処理土	土工用水碎スラグ	銅スラグを用いたケーソン中詰め材
	フェロニッケルスラグを用いたケーソン中詰め材	地盤改良用製鋼スラグ	高炉スラグ骨材
	フェロニッケルスラグ骨材	銅スラグ骨材	電気炉酸化スラグ骨材
	再生加熱アスファルト混合物	鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物	中温化アスファルト混合物
	鉄鋼スラグ混入路盤材	再生骨材等	間伐材
	高炉セメント	フライアッシュセメント	エコセメント
	透水性コンクリート	鉄鋼スラグブロック	フライアッシュを用いた吹付けコンクリート
	下塗用塗料(重防食)	低揮発性有機溶剤型の路面標示用 水性塗料	高日射反射率塗料
	高日射反射率防水	再生材料を用いた舗装用ブロック (焼成)	再生材料を用いた舗装用ブロック類 (プレキャスト無筋コンクリート製品)
	パーク堆肥	下水汚泥を使用した汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)	LED道路照明
	再生プラスチック製中央分離帯ブロック	セラミックタイル	断熱サッシ・ドア
	製材	集成材	合板
	単板積層材	直交集成板	フローリング
	パーティクルボード	繊維版	木質系セメント板
	木材・プラスチック再生複合材製品	ビニル系床材	断熱材
建設機械	照明制御システム	変圧器	吸収冷温水機
	氷蓄熱式空調機器	ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	送風機
	ポンプ	排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管	自動水栓
	自動洗浄装置及びその組み込み小便器	大便器	再生材料を使用した型枠
	合板型枠		
建設機械	排出ガス対策型建設機械	低騒音型建設機械	
工法	低品質土有効利用工法	建設汚泥再生処理工法	コンクリート塊再生処理工法
	路上表層再生工法	路上再生路盤工法	伐採材又は建設発生土を活用した 法面緑化工法
	泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法		
目的物	排水性舗装	透水性舗装	屋上緑化

# 建設廃棄物の取扱い及び建設副産物実態調査に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設副産物についての取扱い及び建設副産物実態調査に関する事項を定めるものであり、横須賀市が発注する建築工事及び建築設備工事に適用する。

## I. 総 則

### 1 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 解体工事 建築物にあっては、当該建築物のうち構造耐力上主要な部分の全部又は一部を取り壊す工事をいい、建築物以外の工作物にあっては、当該工作物の全部又は一部を取り壊す工事をいう。
- (8) 新築工事等 建築物等の新築その他の解体工事以外の建設工事をいう。
- (9) 分別解体等
  - ア 解体工事の場合は、建築物等に用いられた建設資材に係る建設資材廃棄物をその種類ごとに分別しつつ当該工事を計画的に施工する行為をいう。
  - イ 新築工事等の場合は、当該工事に伴い副次的に生じる建設資材廃棄物をその種類ごとに分別しつつ当該工事を施工する行為をいう。
- (10) 再資源化 分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分（再生することを含む）に該当するもので次に掲げる行為をいう。
  - ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。
  - イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (11) 対象建設工事 建設リサイクル法に規定する対象建設工事をいう。
- (12) 建設発生木材等 建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られた解体木くず、伐木材、伐根材その他の木材が廃棄物になったものをいう。
- (13) 建設リサイクル資材 「県土整備部公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。
- (14) 再生資源利用促進計画（実施）書 資源有効利用促進法に規定する再生資源利用促進計画（実施状況）をいう。
- (15) 再生資源利用計画（実施）書 資源有効利用促進法に規定する再生資源利用計画（実施状況）をいう。

## II. 建設副産物適正処理・再資源化に関する事項

工事の施工等にあたっては、まず建設副産物の発生抑制に努め、発生したものについては再使用、再生利用を徹底し、そして熱回収が可能なものは熱回収を行うことを基本として取り組むこととし、このための施工方法及び建設資材の選択等については積極的に提案すること。

### 1 施工前に取り組む事項

建設副産物の発生抑制、分別解体等、再資源化等の中心的役割を担う者として、建設業法、建設リサイクル法その他の法令を遵守するとともに、発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備等を行うこと。

#### 《管理及び施工体制の整備》

- (1) 工事現場における建設副産物対策の責任者を明確にし、廃棄物処理計画の作成に努めること。
- (2) 請負代金の額が100万円以上(税込)の場合には、次の事項を行うこと。
  - ア 次項Ⅲ. に基づき建設副産物情報交換システムに工事情報を登録すること。
  - イ 建設副産物情報交換システムから出力する等をして、「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成し、施工計画書に添付するとともに、監督員に提出して説明すること。
  - ウ 上記イで作成した内容に変更が生じたときは、速やかに再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書を変更し、その変更内容を監督員に速やかに報告すること。
  - エ 再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書は、公衆の見えやすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)すること。
- (3) 体積が500m<sup>3</sup>以上ある建設発生土を工事現場から搬出する建設工事を施工する場合には、資源有効利用促進法に規定する「確認結果票」を作成し、上記イ、ウ及びエと同様に行うこと。
- (4) 対象建設工事においては、契約前に発注者に提出した「説明書」を施工計画書に添付すること。
- (5) 再生資源利用促進計画書、再生資源利用計画書及び廃棄物処理計画等の内容については、現場担当者の教育、協力業者に対する周知徹底と明確な指導を行うこと。

#### 《下請契約》

- (6) 工事の一部を下請発注し、生じた建設廃棄物を処理委託する場合は個別に直接処理委託の契約をすること。
- (7) 分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担に努めること。
- (8) 対象建設工事にあっては、発注者に提出した「説明書」の内容を下請負人に告げるとともに、分別解体等の計画等に沿った施工、特定建設資材廃棄物の再資源化について指導を徹底すること。
- (9) 対象建設工事の下請契約には、建設業法による事項の他、分別解体等の方法、解体工事に要する費用、再資源化等をするための施設の名称及び所在地並びに再資源化等に要する費用を記載すること。
- (10) 解体工事を下請けさせる場合は、建設業法に基づく土木工事業、建築工事業又は解体工事業に係る許可業者または、建設リサイクル法に基づく解体工事業の登録業者に発注すること。  
ただし、解体工事業登録業者は請け負うことができる工事の規模に制限があるので注意すること。

#### 《事前調査等》

- (11) 対象建設工事においては、建設工事の着手に先立ち対象建築物等及びその周辺の状況、作業場所の状況、搬出経路の状況、残存物品の有無、付着物の有無等の調査を行うこと。
- (12) 調査結果に基づき、作業場所及び搬出経路の確保、残存物品の搬出や付着物の除去など適正な工事を実施するための措置を講ずること。

## 《再生品の利用》

- (13) 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材については、利用用途に応じた品質等を考慮した上で、次の事例を参考とし、可能な限り利用すること。

ア 道路等の舗装の路盤材、建築物の砂利・砂・割り石等の材料は、原則として、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づく県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場から再生碎石等を調達すること。ただし、再生砂（RC-10）の利用に当たっては、製造者側から試験結果報告書を入手し六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けることとする。

なお、請け負った工事において再生碎石等を使用する場合は、上記要領に基づき、購入先その他の建設リサイクル資材の利用に関する内容（再生資源利用計画書）を記載した施工計画書に当該指定工場の材料試験成績書を添えて、監督員に提出すること。

また、工事が完了したときは、上記要領に基づき、当該工事に使用した再生碎石等の使用数量を建設リサイクル資材利用報告書に再生骨材購入指定工場の納入証明を受け、監督員に提出すること。

## 2 施工に関する事項

分別解体等及び建設資材廃棄物の処理等の過程においては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等関係法令の遵守を徹底するとともに、アスベスト、C C A処理木材、フロン類、非飛散性アスベスト、P C B等の取扱いには十分注意し、有害物質等の発生抑制及び周辺環境への影響の防止を図ること。

## 《発生抑制》

- (1) 端材の発生が抑制される施工方法の採用及び建設資材の選択等について、次の事例を参考にして、積極的な提案を行うこと。

ア 解体時において再使用が容易に行える施工方法の採用

イ 耐久性の高い建築物等の建築等

ウ 使用済コンクリート型枠の再使用

エ コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の現場内破碎による路盤材等への再生利用

オ 建設汚泥の現場内での脱水、固化等による盛土材等への再生利用

## 《分別解体等》

- (2) 建設業者にあっては主任技術者（監理技術者）、解体工事業登録業者にあっては技術管理者を設置するとともに、工事の現場に標識を掲げること。

- (3) 建設副産物を、次の区分に留意して、種類ごとに分別しつつ工事を施工するよう努めること。

ア 建設廃棄物と建設発生土

イ 一般廃棄物（飲料の空缶や弁当がら、刈草等）と産業廃棄物（伐木材・伐根材等）

ウ 特別管理産業廃棄物（飛散性アスベスト廃棄物等）と再資源化できる産業廃棄物

エ 安定型産業廃棄物（がれき類、廃プラスチック類、ガラスくず及び陶磁器くず、ゴムくず等）と管理型産業廃棄物（燃え殻、木くず、廃石膏ボード等）

- (4) 対象建設工事においては、分別解体等の計画等に定める、工事工程の順序、当該工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法により、現場において、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等をその種類ごとに確実に分別しつつ施工すること。

## 《再資源化等》

- (5) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等、建設発生土は、再生資源利用促進計画書に基づき、再資源化施設等に搬入するとともに、再生資源の活用に努めること。（再生資源利用促進計画書については、III. を参照）
- (6) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、原則として県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場へ搬入すること。  
その際には、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づき、搬入先その他のコンクリート塊等の再資源化に関する内容（再生資源利用促進計画書）を記載した施工計画書を監督員に提出するなど、所定の手続きを取ること。
- (7) 建設発生木材等は、原則として県土整備局の指定事業者の指定施設へ搬入すること。  
その際には、「建設発生木材等の再資源化に関する事務取扱要領」に基づき、搬入その他の建設発生木材等の再資源化に関する内容（再生資源利用促進計画書）を記載した施工計画書を監督員に提出するなど、所定の手続きを取ること。
- (8) 体積が500m<sup>3</sup>以上ある土砂を搬入した場合には、速やかに資源有効利用促進法に規定する「受領書」を搬入元の元請業者等に交付すること。
- (9) その他の建設廃棄物（特定建設資材廃棄物以外の廃棄物、対象建設工事でない工事による建設廃棄物）についても、可能な限り分別解体等を実施し、再資源化等に努めること。

## 《適正処理》

- (10) 廃棄物を処理する場合には、元請業者は、排出事業者として自らの責任において、廃棄物処理法等関係法令に基づき、可能な限り現場で減量化した後に適正に処理すること。
- (11) 廃棄物の処理を委託する場合には次の事項に留意すること。
  - ア 運搬と処分についてそれぞれの許可業者と各々委託契約すること。また、吹き付けアスベスト除去工事等に伴い発生する飛散性アスベスト廃棄物等の特別管理産業廃棄物はその専門業者に委託すること。
  - イ 適正な委託契約を行わない状況で、受託者が不法投棄等を行った時には、委託基準違反として委託者にも責任が及ぶことになるため、適正な委託費用をもって適切な委託契約を行い、併せて契約内容を確実に履行するよう関係者を指導監督すること。
  - ウ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付し、最終処分（再生を含む。）が完了したことを確認すること。

## 3 施工の完了後に行う事項

- (1) 再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書を作成した工事にあっては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）と照合した上で実施状況を記録し、建設副産物情報交換システムから出力する等をして、「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出するとともに、その内容を報告すること。
- (2) 再生資源利用促進計画（実施）書及び再生資源利用計画（実施）書及び確認結果票は、5年間保存すること。
- (3) 対象建設工事においては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）と照合して、特定建設資材廃棄物の再資源化が完了したことを確認したときは、速やかに「再資源化等報告書」を発注者に提出するとともに、再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存すること。
- (4) 次項III. に基づき建設副産物情報交換システムに工事情報を登録した場合は、上記(3)の建設リサイクル法に基づく再生資源化等報告書は監督員に提出されたものとみなす。

上記(1)から(4)の書類は、完成検査時の確認事項とするので、契約工期内に提出等すること。

(参考)

- 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）（令和7年6月1日改正）（建設リサイクル法）
- 特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の促進等に関する基本方針（平成13年1月17日 農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省告示第1号）
- 神奈川県における特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の促進等の実施に関する指針（平成14年5月28日 神奈川県告示第366号）
- 資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）（令和5年4月1日改正）（ラージリサイクル法）
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）（令和7年6月1日改正）（廃棄物処理法）
- 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）（令和3年9月1日改正）（グリーン購入法）
- 建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日改正）

### III. 建設副産物実態調査に関する事項

現場から発生する建設副産物についての発生量および再生資源利用量の実態把握について定める。

- 1 元請業者は、建設資材利用量の大小や有無及び建設副産物発生量・搬出量の大小や有無にかかわらず、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上（税込）の工事（小規模工事等は除く）は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。  
ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備考
搬入する建設資材	コンクリート	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	
	木材	
	アスファルト・コンクリート	
	土砂	
	碎石	
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト（飛散性）	
	その他の分別された廃棄物	
	第一種～第四種建設発生土及び浚渫土（建設汚泥を除く）	

## 2 建設副産物実態調査のコbris・プラスの作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。

- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ  
<http://www.fkplus.jacic.or.jp/> から建設副産物情報交換システム（コbris・プラス）にログインする。  
システムの操作方法については、「トップページ」内の「コbris・プラスでできること（動画）」、「コbris・プラスの使い方」ページ内の「民間企業の方へ」、「■工事の受注者の方へ」（1）及び「■受注者向け（動画）」を参照する。
- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。データ入力の際、データチェック結果にて「確認が必要な事項」がある場合は、修正の要否を確認し、修正が完了したデータをコbris・プラス上で監督員へ提出する。（監督員からコbris・プラスで修正指示がある場合（提出状況欄が「問い合わせあり」の場合）は修正登録をする。）
- (3) 「再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウンロード」から、当該様式（計画）を印刷し、監督員に提出する。
- (4) 工事完成時に実施書（最終データに修正）に書き換える。データチェック結果にて「確認が必要な事項」がある場合は、修正の要否を確認し、修正が完了したデータをコbris・プラス上で監督員へ提出する。（監督員からコbris・プラスで修正指示がある場合（提出状況欄が「問い合わせあり」の場合）は修正登録をする。）
- (5) 「再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウンロード」から、当該様式（実施）を印刷し、監督員に提出する。
- (6) 工事検索画面から当該工事を検索し、「データ登録済み確認書」を印刷し、修正を要するエラーがないことを確認の上、監督員に提出する。

## 3 データ入力上の留意点

- (1) 建設発生土の搬出がある場合は、「公共建設発生土処理に係る特記仕様書」を参照すること。
- (2) チェック結果及び「データ登録済み確認書」のチェック結果で確認が必要な事項に下記の項目がある場合は修正する。

### 11. レンジオーバー

（発生箇所：工事概要）  
請負金額の単位が「万円」であることを再確認し、桁間違いをしていないか確認のうえ、修正登録。

### 20. 現場内不整合

（発生箇所：様式1 土砂、様式2 建設発生土）  
「様式1の土砂（現場内利用量）」＝「様式2の建設発生土（現場内利用量）」となるように修正登録。  
（発生箇所：様式1 碎石、様式2 コンクリート、アスファルト・コンクリート）  
「様式1の碎石（現場内利用量）」＝「様式2のコンクリート、アスファルト・コンクリート（現場内利用量）」となるように単位換算をした数値で修正登録。

### 24. リサイクル率対象外

（発生箇所：様式2 コンクリート、様式2 アスファルト・コンクリート）  
原則として、搬出先は県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場（再資源化工場）となるため修正登録。  
（発生箇所：様式2 建設発生木材A）  
原則として、搬出先は県土整備局の指定事業者の指定施設（再資源化施設）となるため修正登録。  
（発生箇所：様式2 建設発生土（第一種～第四種、浚渫土））  
原則として、搬出先は県指定受入地となるため修正登録。

## 週休 2 日確保工事（発注者指定型）に関する特記仕様書

### 週休 2 日確保工事について

- 1 本工事は、「週休 2 日確保工事実施要領（建築工事・建築設備工事）」に基づき実施するものとする。
- 2 本工事は、「発注者指定型」で実施する。
- 3 実施要領や提出書類等は、下記のホームページを確認すること。  
横須賀市ホームページ>総合案内>市政情報>契約・検査>各部局の工事積算情報  
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/5510/koujitousekisann.html>

## 工事記録写真電子データ提出に関する特記仕様書

工事記録写真について、「建築・建築設備工事 一般共通事項 3.記録 3)工事記録写真」によるほか、詳細は下記による。

- (1) 工事記録写真はフルカラーとし、構成はA4縦3段とする。  
また、原則として各ページにページ番号を記入し、PC上でも縦3段で確認できること。
- (2) 拡張子は原則として専用ソフトによるものとし、ビューワーおよび工事記録写真をPDFに出力したものと同封すること。
- (3) 有効画素数は100万画素以上とし、黒板の文字及び撮影対象が確認できること。
- (4) 記録媒体はCD-RまたはDVD-Rとする。  
また、提出する際はウィルス対策ソフトを使用し、ウィルスチェックを実施すること。
  - ・ ウィルス対策ソフトは広く一般に普及し、信頼性の高いものと使用すること。
  - ・ 最新のウィルスも検出できるように、常に最新のデータに更新したものと使用すること。
- (5) 提出する記録媒体のラベル部には、工事件名、請負者名、工期およびウィルスチェックに関する情報(セキュリティソフト名、バージョン、ウィルス定義、チェック日)を記入すること(下図参照)。



図1 電子媒体表面の記載例

- (6) 工事検査時には、工事記録写真を閲覧できるパソコンなどを準備すること。
- (7) 上記の方法による提出および対応が困難な場合は監督員と協議を行うこと。

## 施工条件明示事項

- 当該工事の施工条件明示事項は、下記表□内の黒塗り部分が対象となる。  
ただし、明示されているものは特に必要なものであり、全てに対して明示されているものではない。
- なお、請負者は下記明示事項やそれ以外に該当すると思われるもので、明示されていない場合には、その都度監督員と協議するものとする。

明示項目	明示事項
■ 工程関係	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 他の工事の開始又は完了の時期による影響</li><li>■ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限(準備工期の設定等)</li><li>□ 関係機関等との協議の未成立</li><li>□ 関係機関等との協議条件による影響</li><li>□ 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間</li><li>■ 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数</li></ul>
□ 用地関係	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 工事用地等の未処理部分</li><li>□ 工事用仮設道路・資機材置き場用の民有地等の借地</li><li>□ 発注者が借り上げた土地の使用</li><li>□ 工事用地等の使用終了後における復旧内容</li></ul>
□ 周辺環境関係 (公害、排水等)	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策</li><li>□ 水替え・流入防止施設</li><li>□ 潟水、湧水等の処理対策</li><li>□ 事業損失防止関係</li></ul>
■ 安全対策関係	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 交通安全施設等の指定</li><li>□ 近接工事での施工方法、作業時間等の制限</li><li>□ 落石、土砂崩落等に対する防護施設</li><li>■ 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置</li><li>□ 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策</li></ul>
□ 工事用道路関係	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限</li><li>□ 搬入路の使用中及び使用後の処置</li><li>□ 仮設道路の設置</li><li>□ 一般道路の占用</li></ul>
□ 仮設備関係	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 仮設物(仮土留、足場等)の他の工事への転用若しくは兼用</li><li>□ 仮設備の構造及び施工方法の指定</li><li>□ 仮設備の設計条件の指定</li></ul>
□ 建設副産物関係	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件</li><li>□ 建設副産物の現場内での再利用及び減量化</li><li>□ 建設副産物及び建設廃棄物の処理</li></ul>
□ 薬液注入関係	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 薬液注入工法の施工</li><li>□ 周辺環境への調査</li></ul>
□ 工事支障物件等	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在</li><li>□ 地上、地下等の占用物件工事との重複施工</li></ul>
■ その他	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 工事用資機材の保管及び仮置き</li><li>□ 工事現場発生品</li><li>□ 支給材料及び貸与品</li><li>■ 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等</li><li>□ 架設工法の指定</li><li>□ 工事用水、電力等の指定</li><li>□ 新技術・新工法・特許工法の指定</li><li>■ 部分使用</li><li>□ 給水の必要</li><li>□ 電子納品対象工事特記仕様書</li></ul>

# 施工条件明示の詳細

## ■ 工程関係

### 他の工事の開始又は完了の時期による影響

本工事は、下記工事と競合する。

- ・横須賀美術館熱源設備その他改修工事
- ・横須賀美術館熱源設備その他改修電気設備工事
- ・横須賀美術館地下蓄熱槽防水その他改修工事

本工事は、競合する工事の進行により工期に影響を受ける可能性がある。

### 施工時期、施工時間及び施工方法の制限(準備工期の設定等)

現場着工時期、現場作業時間は、施設管理者及び監督員と協議の上決定とする(現場調査を除く)。

なお、部分使用検査を受ける範囲については、以下の期間内に施工開始及び完了させるものとする(現場調査除く)。

- ・令和7年12月1日から令和8年3月31日まで。

### 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数

#### ○猛暑による作業不能日数

当該工事は、過去5年間(令和2年～令和6年)(本市の休日を除く)の8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせ5年分を平均したものを日数換算した数を猛暑日日数として、1日間の工期加算を行っている(環境省の関東地方\_神奈川\_三浦地点の値を使用)。施工期間の猛暑日日数が標準工期で見込んでいる日数以上にあり、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合、受注者は、施工期間中の猛暑日日数を発注者に提出することで、工期の延長変更を協議することができるものとする。

## ■ 安全対策関係

### 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置

資材搬出入時等には、必要に応じ交通誘導警備員を配置し、施設利用者及び近隣住民等の安全を図る。

## ■ その他

### 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等

競合工事があるため、本工事の請負者を労働安全衛生法第30条第2項の規定に基づき同条第1項の規定する措置を講ずべきものとして指名する。

### 部分使用

部分使用については、別記4による。

## 特記仕様書

### 使用材料

本工事の内部改修に使用する材料は、ホルムアルデヒドについてはF☆☆☆☆☆(エフフォースター)を明示された材料(ただし、建築基準法告示対象外のものは除く)を使用し、揮発性有機化合物(トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン)については原則として環境対応型の材料を使用すること。  
なお、使用する材料等については事前に監督員の承諾を受けること。  
既製品等材料を使用する前に、カタログ等を提出し監督員の承諾を得ること。

### 共通仮設

- ・工事場所及び資材置場を、うま、ロープ等で明確にし、安全表示板等により施設利用者等の安全をはかる。
- ・動力用水光熱:工事に伴う水光熱は、施設の既存設備を利用できる。  
ただし、電力についてはコンセント程度であり、用水、電力の使用に伴う配管、配線および撤去、復旧等については、請負人の負担とする。

### 直接仮設

- ・外部足場は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」2.2.1「足場等」により関係法令に従い設置すること。(900枠を原則とし、抜け止め機能付き型くさび緊結式足場(次世代足場)等の異なるものを採用しようとする場合は、監督員の承諾を得ること)
- ・施設利用者等の安全を確保するよう、災害防止処置を施すこと。

### 撤去・処分

- ・発生材は、原則として場外処分とする。
- ・解体・撤去により生じた周辺のクラック等は、原形に復旧する。
- ・日曜日、祝日に大きな騒音、振動の発生する作業については、騒音規制法及び振動規制法の規定により行わないこと。
- ・搬出・処分は関係法令に抵触しないよう留意すること。
- ・発生材の処分は、原則として再生工場持込とする。ただし、再生処分が出来ない物に限り、関係法令に抵触しないよう処分すること。
- ・解体等で大きな騒音の発生する作業については、施設管理者と協議し施工すること。

### 防水

- 防水工事の施工に先立ち下地調査を行い、報告書を提出すること。  
報告書の記載内容は、次のとおりとする。
- ・下地補修について、項目ごとの数量の集計表および平面図等による補修位置図

### 外壁

- 外壁塗装の施工に先立ち外壁調査を行い、報告書を提出すること。  
報告書の記載内容は、次のとおりとする。
- ・下地補修について、項目ごとの数量の集計表および立面図等による補修位置図

### ※工事保証

#### 責任保証

- ・本工事で施工した内容について、下記のとおり保証をすること。
- ・保証書は材料メーカー、施工者および請負者の連名とし、A4版で3部提出すること。
- ・保証開始日は、本工事の契約工期末日とする。
- 1. 低層部屋根防水(ウレタン塗膜防水)  
保証期間:10年  
保証内容:防水機能
- 2. ガラス飛散防止フィルム  
保証期間:5年  
保証内容:フィルムの剥がれ、膨れ等の不具合

## 単価及び共通費等に関する事項

### 1 単価等の採用根拠について

内訳書に掲載の単価等の採用根拠は、以下のとおりです。

A	建築工事標準市場単価表[建築・電気設備・機械設備]	非公開
	建築改修工事標準市場単価表[建築・電気設備・機械設備]	
	※上記単価表の単価は下記の歩掛等により作成	
	公共建築工事標準単価積算基準	
	公共建築工事積算基準等資料	
	公共建築工事積算研究会参考歩掛り	
B	営繕積算システム等開発利用協議会参考資料	数量内訳書 見積単価等情報 にて公開
	営繕積算システム等開発利用協議会歩掛り	
C	土木工事資材等単価表（神奈川県）	
D	建設物価、積算資料の2誌平均値による複合単価	数量内訳書 見積単価等情報 にて公開
	建築施工単価・建築コスト情報との2誌平均値	
	カタログ価格による複合単価	
	見積り及び見積りによる複合単価	
E	市独自単価一覧表（土木工事編）	数量内訳書 見積単価等情報 にて公開
	工事量が少量、僅少等の場合において補正を行ったA、BまたはCの単価	

- (1) Aの単価については、公表されている歩掛と刊行物に掲載の単価との複合単価であり、(一財)経済調査会及び(一財)建設物価調査会に著作権があるため、非公開とします。  
なお、Aの単価を作成する際に使用している刊行物の採用月は、原則として単価表の適用月前月です。
- (2) Bの単価については、神奈川県HP（土木工事資材等単価表について）に掲載しています。  
神奈川県HP:<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/m2t/cnt/f4317/p12744.html>
- (3) Cの単価については、一般に公表されている、または都市部建築計画課が独自に調査した材料価格以外の刊行物による単価であり、(一財)経済調査会及び(一財)建設物価調査会に著作権があるため非公開とします。
- (4) 単価の採用根拠についての内容に関する質疑等は、原則受け付けません。

### 2 単価世代及び共通費算定の根拠について

- (1) 建築工事標準市場単価表等は、令和7年7月1日単価を採用しています。
- (2) 建築工事主要資材単価表は、令和7年7月1日単価を採用しています。
- (3) 共通仮設費率及び現場管理費率の算定に用いる工期Tは、8.0か月とします。
- (4) 共通仮設費率及び現場管理費率の算定式は、改修を採用しています。
- (5) 改修工事における積算上の区分は、執務並行改修としています。
- (6) 共通仮設費（積み上げ分含む）及び現場管理費は、敷地ごとに算定し合算しています。

### 3 その他

- (1) 工事価格は、原則として有効桁を上位4桁としています。ただし、一千万円未満の場合は、一万円単位としています。

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
換価格充当品	1	式		
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 工事種別内訳

2

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 種目別内訳

3

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 科目別内訳

4

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 中科目別内訳

5

美術館改修工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 额	備 考
直接仮設		1	式		
計					
外壁その他改修	撤去	1	式		
外壁その他改修	改修	1	式		
計					
外部鋼製建具改修	撤去	1	式		
外部鋼製建具改修	改修	1	式		
計					
低層部屋根改修	撤去	1	式		
低層部屋根改修	改修	1	式		
計					
光庭改修	撤去	1	式		
光庭改修	改修	1	式		
計					
サイン改修	撤去	1	式		

## 建築工事 中科目別内訳

6

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

7

## 建築工事 細目別内訳

8

## 横須賀美術館外壁その他改修工事

## 建築工事 細目別内訳

9

美術館改修工事		外壁その他改修				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(外壁改修)						
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修		m <sup>2</sup>			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修		m <sup>2</sup>			
外壁等塗装改修 下地処理	高圧水洗工法 (既存塗膜及び下地劣化部の除去又 は作業面:アクリル程度50~100MPa 代用)		m <sup>2</sup>			
ひび割れ部補修	クラック樹脂注入工法 サンド-掛けW100共		m			
コンクリート欠損補修	60×110 充填工法 サンド-掛け共		か所			
コンクリート欠損補修	60×60 充填工法 サンド-掛け共		か所			
コンクリート欠損補修	100×1900 充填工法 サンド-掛け共		か所			
コンクリート欠損補修	100×900 充填工法 サンド-掛け共		か所			
コンクリート欠損補修	400×340 充填工法 サンド-掛け共		か所			
コンクリート欠損補修	50×150 充填工法 サンド-掛け共		か所			
コンクリート欠損補修	s1見切り銷部 L1970 E外壁補修		か所			
シリング	一般部 木'リルファイド'系(PS-2) 20×10		m			
シリング	一般部 变成シリコン系(WS-2) 20×10		m			

## 建築工事 細目別内訳

10

美術館改修工事		外壁その他改修				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁等塗装改修	打放しコンクリート面 超耐久水性ワッカ素樹脂クリヤー塗料系 コンクリート仕上げ 既存塗膜下地(ケイ酸質系)処理共		m <sup>2</sup>			
外壁等塗装改修	打放しコンクリート面 超耐久水性ワッカ素樹脂クリヤー塗料系 コンクリート仕上げ 既存塗膜下地(ケイ酸質系)処理共 既存外壁コンクリートのぜい弱部、 表面の小豆板を樹脂E外壁にて補修		m <sup>2</sup>			
外壁等塗装改修	E外壁漆面 超耐候・超低汚染ワッカ素樹脂 複合無機塗料 既存塗膜下地(アクリルシリコン樹脂塗料) 処理共 下地調整(ミクファンド)共		m <sup>2</sup>			
耐候性塗料 (DP)塗り	s1見切り銷部 L1970 下地調整(グリ)共 鉄鋼面 銀止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ワッカ)		か所			
(飛散防止フィルム)						
飛散防止フィルム貼			m <sup>2</sup>			
(手摺改修)						
手摺腐食部 補修	FB-6×44 L115 両面 4辺全溶接 ケン・はつり・E外壁補修共		か所			
屋外手摺A シリング^イト	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 E-バール改修工法(E-バール+E-バール) 同等品		m <sup>2</sup>			
屋外手摺B シリング^イト	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 E-バール改修工法(E-バール+E-バール)		m <sup>2</sup>			

美術館改修工事		外壁その他改修					改修
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
	同等品		m <sup>2</sup>				
屋外手摺C ジンクリッジ ヘイント	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 ローバル改修工法(ローバル+ローバル) 同等品		m <sup>2</sup>				
屋外手摺D ジンクリッジ ヘイント	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 ローバル改修工法(ローバル+ローバル) 同等品		m <sup>2</sup>				
(樋蓋改修)			m <sup>2</sup>				
既存樋蓋 歪み矯正のうえ 再利用	W575		m				
タイプA 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L1085		か所				
タイプB 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L900		か所				
タイプC-D 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L1103		か所				
タイプE 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L800		か所				
タイプF 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L155		か所				
端部 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L70		か所				
端部 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L60+485+60		か所				
端部 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L145+485+145		か所				

## 建築工事 細目別内訳

美術館改修工事		外壁その他改修					改修
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
(グレーチング 改修)							
グレーチング	溝幅150 ブル製 溶融亜鉛メッキ棒共 (その他改修詳細図)		m				
(樋改修)							
ケイガ板新設	100角 厚6.0 下地共 豎樋 47.2切欠き (その他改修詳細図)		か所				
豎樋改修	47.2 ブル製 L50 (その他改修詳細図)		か所				
軒天 EP-G塗装	100×100 ケイガ板面 バテ処理		か所				
軒天 EP-G塗替え	ケイガ板面 下地調整共		m <sup>2</sup>				
(開口塞ぎ)							
外皮開口塞ぎ ホード	楕円曲面最大幅1200 エフジーホード 厚6+6 新規ジヨイントヨイント部総目処理 (曲面1200 開口部塞ぎ詳細図)		か所				
外皮開口塞ぎ 下地LGS	楕円曲面最大幅1200 横M11-0151 縦LGS野縁受け2本 四周シナ20×40 (曲面1200 開口部塞ぎ詳細図)		か所				
外皮開口塞ぎ ホード	600 エフジーホード 厚6+6 新規ジヨイントヨイント部総目処理 (平面600 開口部塞ぎ詳細図)		か所				
外皮開口塞ぎ 下地LGS	600 縦40×40×303 四周シナ20×40		か所				

横須賀美術館外壁その他改修工事  
建築工事 細目別内訳

13

美術館改修工事		外壁その他改修				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
開口塞ぎ アルミニウムサングルメタル	750 着脱可能 パンダグメタル 609 千鳥 厚3.0 アルミ製 カリ川焼付塗装 4か所 バルナム固定用マグネット :ホダつきマグネット JDM-ND-32-M6 同等品以上 下地別サングル共 (平面750 開口部一時塞ぎ詳細図)		か所			
外皮開口塞ぎ アクリルシリコン弾性塗料	橋円曲面最大幅1200 ホード面 (曲面1200 開口部塞ぎ詳細図)		か所			
外皮開口塞ぎ アクリルシリコン弾性塗料	600 ホード面 (平面600 開口部塞ぎ詳細図)		か所			
内皮開口塞ぎ 鉄板	橋円曲面最大幅1200 スチール製厚2.3 DP(3級) 現場カット溶接後ガラウド処理の上 ホリバテ研磨 (曲面1200 開口部塞ぎ詳細図)		か所			
内皮開口塞ぎ 鉄板	600 スチール製厚2.3 UE 下地: -20 x 40 x 厚3.2 現場カット溶接後ガラウド処理の上 ホリバテ研磨 (平面600 開口部塞ぎ詳細図)		か所			
計						

建築工事 細目別内訳

14

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(建具)						
CW L1-06 固定ガーリ羽撤去	W1165 x H2983 羽(点線部)を切除 集積共 (外部鋼製建具詳細図3)		か所			
CW L1-06 開きガーリ羽撤去	W1222 x H2998 集積共 (外部鋼製建具詳細図4)		か所			
CW L1-3 大型両引戸撤去	W4905 x H2984 障子框のみ撤去 集積共 (外部鋼製建具詳細図6)		か所			
CW L1-3 片開き扉撤去	W1207.5 x H2997 下部スケルズFB-6 x 44撤去 上部スケルズFB-6 x 44撤去 両側部スケルズFB-6 x 44撤去 (外部鋼製建具詳細図8)		か所			
SDW-M1 FIX下部押縁撤去	W1249 x H3019 下部FB-3 x 50撤去 (外部鋼製建具詳細図11)		か所			
SDWE C1-2 片引き扉撤去	W1470 x H2998 下部スケルズFB-6 x 100撤去 上部スケルズFB-6 x 50撤去 両側部スケルズFB-6 x 50撤去 (外部鋼製建具詳細図12)		か所			
SDWE C1-2 既存腐食部撤去	W360 x H300 PL-1.6 集積共 (外部鋼製建具詳細図12)		か所			
既存柱腐食部撤去	H200程度 集積共 (外部金属部分立面図5)		か所			
下部押縁切除	FB-6 x 44 集積共 正面からかかとの刃を入れ 押縁上半分を切除することでサシ本 体との点溶接の箇所を把握。 点溶接の位置で上から刃を入れ 下半分を切除。 (外部鋼製建具詳細図5-12)		m			
下部押縁切除	FB-6 x 50 集積共 正面からかかとの刃を入れ 押縁上半分を切除することでサシ本					

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	体との点溶接の箇所を把握。 点溶接の位置で上から刃を入れ 下半分を切除。 (外部鋼製建具詳細図5)		m			
SDW-M1 FIX下部枠撤去	FB-3×50 集積共 集積共 (外部鋼製建具詳細図11)		m			
枠切除	FB-6×34 集積共 (外部鋼製建具詳細図5-8)		m			
枠切除	FB-6×50 集積共 (外部鋼製建具詳細図7-10-12)		m			
枠切除	FB-6×75 集積共 (外部金属部分立面図5)		m			
SG-101 スチールガラリ撤去	W1800×H500 枠共撤去 集積共 (外部鋼製建具詳細図13)		か所			
(その他)						
建具押縁前 アスファルト舗装撤去	W150 厚30 片面カッタ- 集積共		m			
ケーリング 新設部 アスファルト舗装撤去	W150 厚30 両面カッタ- 集積共 (その他改修詳細図)		m			
建具押縁前 PCJ ロック一時撤去	W600 1列分		m			
シーリング 撤去	集積共 10×10		m			
シーリング 撤去	集積共 10×10 L34~85		m			
シーリング 撤去	集積共 15×10		m			
シーリング 撤去	集積共 20×10		m			

## 建築工事 細目別内訳

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(庇ル-バー-改修)						
シーリング 撤去	集積共 15×10		m			
シーリング 撤去	集積共 20×10		m			
シーリング 撃去	集積共 30×10		m			
計						

横須賀美術館外壁その他改修工事  
建築工事 細目別内訳

17

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(建具)						
1建具改修	W1108×H2998 建付け調整 マーカット交換		か所			
1建具改修	W1124×H2998 建付け調整 マーカット交換		か所			
1建具改修	W1159×H2998 建付け調整 マーカット交換		か所			
1建具改修	W1172×H2998 建付け調整 マーカット交換		か所			
1建具改修	W1199×H2998 建付け調整 マーカット交換		か所			
1建具改修	W1222×H2998 建付け調整 マーカット交換		か所			
SW L1-4 建具改修	W1222×H2998 框歪み矯正 マーカット・ガット・ローラー受け交換 ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図2)		か所			
SW L1-11 建具改修	W1222×H2374 框歪み矯正 マーカット・ガット・ローラー受け交換 ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図2)		か所			
CW L1-06 固定ガリ改修	W1165×H2983 新規羽・つなぎ材・枠: マーリ製厚1.6新設 (外部鋼製建具詳細図3)		か所			
CW L1-06 開きガリ障子新設	W1222×H2998 障子のみ新規交換 ステンレス製 フッ素樹脂焼付塗装 (外部鋼製建具詳細図4)		か所			
CW L1-3 大型両引戸改修	W4905×H2984 下部レール調整(既存利用) (外部鋼製建具詳細図6)		か所			

建築工事 細目別内訳

18

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
CW L1-3 大型両引戸改修	W4905×H2984 障子のみ新設 ステンレス製 フッ素樹脂焼付塗装 戸車・カム・錠交換 下部レール調整(既存利用) ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図6)		か所			
CW L1-3 2 片開き扉改修	W1207.5×H2997 建付け調整 マーカット交換 下部ステンレスFB-6×44新設 上部ステンレスFB-6×44新設 両側部ステンレスFB-6×44新設 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図8)		か所			
SDWE C1-2 片引き扉改修	W1470×H2998 下部ステンレスFB-6×100新設 上部ステンレスFB-6×50新設 両側部ステンレスFB-6×50新設 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図12)		か所			
SDWE C1-2 既存腐食部改修	W360×H300 PL-1.6 既存部と溶接後サンド-掛け (外部鋼製建具詳細図12)		か所			
既存枠腐食部改修	H200程度 既存と同じ形 PL-1.6 既存部と溶接後サンド-掛け (外部金属部分立面図5)		か所			
SG22 片開き扉改修	W630×H1230程度 サムターン/リング-錠前の交換		か所			
押縁新設	ステンレス FB-6×44 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5-12)		m			
押縁新設	ステンレス FB-6×50 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5)		m			
SDW-M1 FIX下部枠新設	ステンレス FB-3×50 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図11)		m			
枠新設	ステンレス FB-6×34 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5-8)		m			
枠新設	ステンレス FB-6×50 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図7-10-12)		m			

横須賀美術館外壁その他改修工事  
建築工事 細目別内訳

19

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
枠新設	アルミ製 FB-6×75 ガラス樹脂焼き付塗装仕上 (外部金属部分立面図5)		m			
SG-101 ガラス新設	W1800×H500 アルミ製 ガラス樹脂焼き付塗装仕上 枠:L-50×50×6 ルーバー:FB-3×32 縦支柱:PL-1.5曲げ 3本 (外部鋼製建具詳細図13)		か所			
(その他)						
建具押縁前 アルミ舗装	W150 厚30		m			
建具押縁前 PCJ ルーバー取付	W150		m			
ケーリング 一時撤去 再取付	W1000×L6000 (外壁改修キーフラン)		か所			
SW L1-4 ガラス一時撤去 再取付け	W1154×H2917 ガラス回りシリング 共 (外部鋼製建具詳細図2)		枚			
SW L1-11 ガラス一時撤去 再取付け	W1154×H2374 ガラス回りシリング 共 (外部鋼製建具詳細図2)		枚			
CW L1-3 ガラス一時撤去 再取付け	W2352.5×H2789 ガラス回りシリング 共 (外部鋼製建具詳細図6)		枚			
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(建具) 塗装面1%:光面漫透型プライマー 塗装面5%:ボリバ共 鉄鋼面 鎔止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)		m <sup>2</sup>			
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(幕板) 塗装面1%:光面漫透型プライマー 塗装面5%:ボリバ共 鉄鋼面 鎔止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)		m <sup>2</sup>			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10		m			

建築工事 細目別内訳

20

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10 L34~85		m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10		m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10		m			
シリング	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10		m			
(庇ルーバー改修)						
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(ルーバー柱含む) 塗装面1%:光面漫透型プライマー 塗装面5%:ボリバ共 鉄鋼面 鎔止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)		m <sup>2</sup>			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10 打替え部		m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10 新設部		m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 30×10 打替え部		m			
ガラスクリーニング	竣工時部分清掃内外(足場あり)代用 ガラス庇面					
計						

横須賀美術館外壁その他改修工事  
建築工事 細目別内訳

21

美術館改修工事		低層部屋根改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シリング撤去	集積共 10×10		m			
シリング撤去	集積共 20×10		m			
シリング撤去	集積共 W20×厚10 目地シリコン部		m			
補修シリコンシリング シリング撤去	W55×厚10 11.4m W60×厚10 5.0m W20×厚5 L115 2か所 W55×厚10 L201 1か所 W55×厚10 L221 1か所 W60×厚10 L150 2か所 W90×厚10 L160 1か所 笠木ジョイント W55×厚10 L296 3か所 総計 18.4m 集積共	1	式			
(屋根)						
既存屋根撤去	W420 厚0.7 キャップ共撤去 集積共 (各部詳細図-5)		m			
水切り撤去	延W140 カーブミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)		m			
雨押え(水上)撤去	延W260 カーブミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)		m			
雨押え(ケバ)撤去	W30×H60~140 カーブミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)		m			
樋端部面戸撤去	W150×H110 カーブミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)		か所			
笠木撤去	W200×H85/50 ヌチル製 集積共 (各部詳細図-4)		m			
計						

建築工事 細目別内訳

22

美術館改修工事		低層部屋根改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(塗膜防水)						
超速硬化 ルタ塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 リ・ル・システム同等品		m <sup>2</sup>			
雨押え・水切り 超速硬化 ルタ塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 (断熱材無し) リ・ル・システム同等品 (矢視)		m <sup>2</sup>			
笠木 超速硬化 ルタ塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 (断熱材無し) リ・ル・システム同等品 (矢視)		m <sup>2</sup>			
樋 超速硬化 ルタ塗膜防水	2.0kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 SPM-200SK工法同等品 (矢視)		m <sup>2</sup>			
(テープ張り)						
雨押え アーチルゴムテープ張り	L20~L296 幅100程度		m			
水切端部 アーチルゴムテープ張り	幅100程度		m			
笠木端部 アーチルゴムテープ張り	幅100程度		m			
キャップ部 アーチルゴムテープ張り	幅100程度		m			
雨押え端部 アーチルゴムテープ張り	幅100程度		m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10 再充填工法 笠木端部		m			

美術館改修工事		低層部屋根改修					改修
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10 再充填工法		m				
シリング	一般部 ポリレターン系(PU-2) 20×10 再充填工法		m				
シリング	一般部 シリコン系(SR-1) 20×10 再充填工法		m				
シリング	一般部 ポリレターン系(PU-2) 20×10 再充填工法 笠木ジョイント部		m				
シリング 充填工法	PU-2 30×20		m				
シリング 充填工法	PU-2 40×15		m				
シリング 充填工法	PU-2 50×15		m				
シリング	一般部 ポリケルタイト系(PS-2) 20×10 雨押え小口端部・樋小口端部豎・ 笠木ジョイント部・雨押えジョイント部		m				
(屋根)							
屋根新設	W420 カーブ厚0.7 キャップ共 マッターラーフ型同等品 (各部詳細図-5)		m				
水切り新設	延W140 カーブ厚0.7 (各部詳細図-5)		m				
雨押え(水上)新設	延W260 カーブ厚0.7 (各部詳細図-5)		m				
雨押え(ケバ)新設	W30×H60~140 カーブ厚0.7 (各部詳細図-5)		m				
樋端部面戸新設	W150×H110 カーブ厚0.7 (各部詳細図-5)		か所				
矢視 落ち葉除け スチール防塵網	W400×D250×H100 四角形 スチール亀甲金網 元旦ビューティ 防塵網同等品 (各部詳細図-5)		か所				

## 建築工事 細目別内訳

美術館改修工事		低層部屋根改修					改修
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
矢視 落ち葉除け スチール防塵網	W300×D100×H150 四角形 スチール亀甲金網 元旦ビューティ 防塵網同等品 (各部詳細図-5)		か所				
矢視 落ち葉除け スチール防塵網	W300×D150×H120 四角形 スチール亀甲金網 元旦ビューティ 防塵網同等品 (各部詳細図-5)		か所				
笠木新設	W200×H85/50 刃製厚0.7 (各部詳細図-4)		m				
計							

## 建築工事 細目別内訳

美術館改修工事		光庭改修	改修			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シリング*	一般部 变成シリコン系(MS-2)20×10 打替え部		m			
シリング*	一般部 变成シリコン系(MS-2)20×10 新設部		m			
PCP ロック	W100×D600×厚40 根太上部:樹脂製ガブレーリ共 ガブレーリ同等品		m <sup>2</sup>			
PCP ロック 脱気装置切り欠き 手間			か所			
PCP ロック下地 鋼製二重床	大引用鋼材:厚1.6 ハット型 H30×W40/70.8 溶融亜鉛めっき@400程度 根太用鋼材:厚1.6 ハット型 H30×W45/81 溶融亜鉛めっき@600程度 大引き受け:受け金具・設置ヘンス ヘンス@400×600		m <sup>2</sup>			
超速硬化 ルタ塗膜防水	X1-H 厚3.0mm/m <sup>2</sup> 程度 通気緩衝工法		m <sup>2</sup>			
サッジ 超速硬化 ルタ塗膜防水	W30+H20 X2-H 厚2.0mm/m <sup>2</sup> 程度 密着工法		m			
立上り 超速硬化 ルタ塗膜防水	W40+H40 X2-H 厚2.0mm/m <sup>2</sup> 程度 密着工法		m			
排水溝桟底 超速硬化 ルタ塗膜防水	X2-H 厚2.0mm/m <sup>2</sup> 程度 密着工法		m <sup>2</sup>			
排水溝桟立上り 超速硬化 ルタ塗膜防水	X2-H 厚2.0mm/m <sup>2</sup> 程度 密着工法		m <sup>2</sup>			
横引き配管 ルタゴム系塗膜 防水	100×施工可能範囲まで 厚1.0mm/m <sup>2</sup> 程度		か所			
脱気装置	メタル製		か所			
下地調整用 エボキシ樹脂モルタル	厚0.5 平部		m <sup>2</sup>			

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

27

## 建築工事 細目別内訳

28

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

29

## 建築工事 細目別内訳

30

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

31

# 数量内訳書 見積単価等情報

## 都市部建築計画課

※ この数量内訳書の数量は参考です、入札者は独自に積算し入札すること。

掲載された単価は本市が設計価格算出の為に採用したもので、入札者の下請負 金額等を保証するものではありません。

また、金額に関する質疑等は原則、受け付けません。

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
換価格充当品	1	式		
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 工事種別内訳

2

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 種目別内訳

3

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 科目別内訳

4

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 中科目別内訳

5

美術館改修工事					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
外壁その他改修	撤去	1	式		
外壁その他改修	改修	1	式		
計					
外部鋼製建具改修	撤去	1	式		
外部鋼製建具改修	改修	1	式		
計					
低層部屋根改修	撤去	1	式		
低層部屋根改修	改修	1	式		
計					
光庭改修	撤去	1	式		
光庭改修	改修	1	式		
計					
サイン改修	撤去	1	式		

## 建築工事 中科目別内訳

6

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

7

## 建築工事 細目別内訳

8

## 横須賀美術館外壁その他改修工事

## 建築工事 細目別内訳

9

美術館改修工事		外壁その他改修				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(外壁改修)						
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	571	m <sup>2</sup>			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修	131	m <sup>2</sup>			
外壁等塗装改修 下地処理	高圧水洗工法 (既存塗膜及び下地劣化部の除去又 は作業面:アクリル程度50~100MPa 代用)	702	m <sup>2</sup>			
ひび割れ部補修	クラック樹脂注入工法 サグダ-掛けW100共	69.9	m			
コンクリート欠損補修	60×110 充填工法 サグダ-掛け共	1	か所			
コンクリート欠損補修	60×60 充填工法 サグダ-掛け共	1	か所			
コンクリート欠損補修	100×1900 充填工法 サグダ-掛け共	1	か所			
コンクリート欠損補修	100×900 充填工法 サグダ-掛け共	1	か所			
コンクリート欠損補修	400×340 充填工法 サグダ-掛け共	1	か所			
コンクリート欠損補修	50×150 充填工法 サグダ-掛け共	1	か所			
コンクリート欠損補修	st見切り銷部 L1970 E外壁補修	1	か所			
シリング	一般部 木'リルファイド'系(PS-2) 20×10	80	m			
シリング	一般部 变成シリコン系(WS-2) 20×10	68.3	m			

## 建築工事 細目別内訳

10

美術館改修工事		外壁その他改修				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外壁等塗装改修	打放しコンクリート面 超耐久水性ワッカ素樹脂クリヤー塗料系 コンクリート仕上げ 既存塗膜下地(ケイ酸質系)処理共	527	m <sup>2</sup>			
外壁等塗装改修	打放しコンクリート面 超耐久水性ワッカ素樹脂クリヤー塗料系 コンクリート仕上げ 既存塗膜下地(ケイ酸質系)処理共 既存外壁コンクリートのぜい弱部、 表面の小豆板を樹脂E外壁にて補修	43.5	m <sup>2</sup>			
外壁等塗装改修	E外壁漆面 超耐候・超低汚染ワッカ素樹脂 複合無機塗料 既存塗膜下地(アクリルシリコン樹脂塗料) 処理共 下地調整(ミクアンド)共	131	m <sup>2</sup>			
耐候性塗料 (DP)塗り	st見切り銷部 L1970 下地調整(グリ)共 鉄鋼面 銀止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ワッカ)	1	か所			
(飛散防止フィルム)						
飛散防止フィルム貼		79.1	m <sup>2</sup>			
(手摺改修)						
手摺腐食部 補修	FB-6×44 L115 両面 4辺全溶接 ケン・はつり・E外壁補修共	288	か所			
屋外手摺A シリング'ハ'イト	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 E-H'ル改修工法(E-H'ル + E-H'ル) 同等品	18.9	m <sup>2</sup>			
屋外手摺B シリング'ハ'イト	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 E-H'ル改修工法(E-H'ル + E-H'ル)					

美術館改修工事		外壁その他改修					改修
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
	同等品	214	m <sup>2</sup>				
屋外手摺C ジンクリッジ ヘイド	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 ローバル改修工法(ローバル+ローバル) 同等品	134	m <sup>2</sup>				
屋外手摺D ジンクリッジ ヘイド	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 ローバル改修工法(ローバル+ローバル) 同等品	299	m <sup>2</sup>				
(樋蓋改修)							
既存樋蓋 歪み矯正のうえ 再利用	W575	46.4	m				
タイプA 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L1085	64	か所				
タイプB 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L900	4	か所				
タイプC-D 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L1103	4	か所				
タイプE 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L800	2	か所				
タイプF 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L155	4	か所				
端部 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L70	38	か所				
端部 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L60+485+60	21	か所				
端部 新規補強材	15+30+15 コ型 ステンレス製 L145+485+145	4	か所				

## 建築工事 細目別内訳

美術館改修工事		外壁その他改修					改修
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
(グレーチング 改修)							
グレーチング	溝幅150 ブル製 溶融亜鉛メッキ棒共 (その他改修詳細図)	7.5	m				
(樋改修)							
ケイガ板新設	100角 厚6.0 下地共 豎樋 47.2切欠き (その他改修詳細図)	2	か所				
豎樋改修	47.2 ブル製 L50 (その他改修詳細図)	2	か所				
軒天 EP-G塗装	100×100 ケイガ板面 バテ処理	2	か所				
軒天 EP-G塗替え	ケイガ板面 下地調整共	13.5	m <sup>2</sup>				
(開口塞ぎ)							
外皮開口塞ぎ ホード	橋円曲面最大幅1200 エフジーホード 厚6+6 新規ジヨンドヨイド部継目処理 (曲面1200 開口部塞ぎ詳細図)	1	か所				
外皮開口塞ぎ 下地LGS	橋円曲面最大幅1200 横M11-0151 縦LGS野縁受け2本 四周ジヤ20×40 (曲面1200 開口部塞ぎ詳細図)	1	か所				
外皮開口塞ぎ ホード	600 エフジーホード 厚6+6 新規ジヨンドヨイド部継目処理 (平面600 開口部塞ぎ詳細図)	1	か所				
外皮開口塞ぎ 下地LGS	600 縦40×40×303 四周ジヤ20×40	1	か所				

横須賀美術館外壁その他改修工事  
建築工事 細目別内訳

13

美術館改修工事		外壁その他改修					改修
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
開口塞ぎ アルミニウムサングルメタル	750 着脱可能 パンダグメタル 609 千鳥 厚3.0 アルミニウムサングルメタル 4か所 パーツ固定用マグネット マグネット JDM-ND-32-M6 同等品以上 下地別サングル共 (平面750 開口部一時塞ぎ詳細図)	1	か所				
外皮開口塞ぎ アクリルシリコン弾性塗料	橋円曲面最大幅1200 ホード面 (曲面1200 開口部塞ぎ詳細図)	1	か所				
外皮開口塞ぎ アクリルシリコン弾性塗料	600 ホード面 (平面600 開口部塞ぎ詳細図)	1	か所				
内皮開口塞ぎ 鉄板	橋円曲面最大幅1200 スチール製厚2.3 DP(3級) 現場カット溶接後ガラウド処理の上 ホリバテ研磨 (曲面1200 開口部塞ぎ詳細図)	1	か所				
内皮開口塞ぎ 鉄板	600 スチール製厚2.3 UE 下地: -20 x 40 x 厚3.2 現場カット溶接後ガラウド処理の上 ホリバテ研磨 (平面600 開口部塞ぎ詳細図)	1	か所				
計							

建築工事 細目別内訳

14

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(建具)						
CW L1-06 固定ガーリ羽撤去	W1165 x H2983 羽(点線部)を切除 集積共 (外部鋼製建具詳細図3)	1	か所			
CW L1-06 開きガーリ障子撤去	W1222 x H2998 集積共 (外部鋼製建具詳細図4)	1	か所			
CW L1-3 大型両引戸撤去	W4905 x H2984 障子框のみ撤去 集積共 (外部鋼製建具詳細図6)	1	か所			
CW L1-3 片開き扉撤去	W1207.5 x H2997 下部スケルズFB-6 x 44撤去 上部スケルズFB-6 x 44撤去 両側部スケルズFB-6 x 44撤去 (外部鋼製建具詳細図8)	2	か所			
SDW-M1 FIX下部押縁撤去	W1249 x H3019 下部FB-3 x 50撤去 (外部鋼製建具詳細図11)	1	か所			
SDWE C1-2 片引き扉撤去	W1470 x H2998 下部スケルズFB-6 x 100撤去 上部スケルズFB-6 x 50撤去 両側部スケルズFB-6 x 50撤去 (外部鋼製建具詳細図12)	1	か所			
SDWE C1-2 既存腐食部撤去	W360 x H300 PL-1.6 集積共 (外部鋼製建具詳細図12)	1	か所			
既存桟腐食部撤去	H200程度 集積共 (外部金属部分立面図5)	3	か所			
下部押縁切除	FB-6 x 44 集積共 正面からかかとの刃を入れ 押縁上半分を切除することでサッシ本 体との点溶接の箇所を把握。 点溶接の位置で上から刃を入れ 下半分を切除。 (外部鋼製建具詳細図5-12)	4.3	m			
下部押縁切除	FB-6 x 50 集積共 正面からかかとの刃を入れ 押縁上半分を切除することでサッシ本					

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	体との点溶接の箇所を把握。 点溶接の位置で上から刃を入れ 下半分を切除。 (外部鋼製建具詳細図5)	64.9	m			
SDW-M1 FIX下部枠撤去	FB-3×50 集積共 集積共 (外部鋼製建具詳細図11)	1.3	m			
枠切除	FB-6×34 集積共 (外部鋼製建具詳細図5-8)	18.3	m			
枠切除	FB-6×50 集積共 (外部鋼製建具詳細図7-10-12)	21.1	m			
枠切除	FB-6×75 集積共 (外部金属部分立面図5)	3	m			
SG-101 スチールガラリ撤去	W1800×H500 枠共撤去 集積共 (外部鋼製建具詳細図13)	1	か所			
(その他)						
建具押縁前 アスファルト舗装撤去	W150 厚30 片面カッタ- 集積共	96.2	m			
ケーリング 新設部 アスファルト舗装撤去	W150 厚30 両面カッタ- 集積共 (その他改修詳細図)	7.5	m			
建具押縁前 PCJ ロック一時撤去	W600 1列分	198	m			
シーリング 撤去	集積共 10×10	1,171	m			
シーリング 撤去	集積共 10×10 L34~85	20.6	m			
シーリング 撤去	集積共 15×10	53.9	m			
シーリング 撤去	集積共 20×10	51.6	m			

## 建築工事 細目別内訳

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(庇ル-バー-改修)						
シーリング 撤去	集積共 15×10	197	m			
シーリング 撤去	集積共 20×10	204	m			
シーリング 撤去	集積共 30×10	102	m			
計						

横須賀美術館外壁その他改修工事  
建築工事 細目別内訳

17

美術館改修工事		外部鋼製建具改修				改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
(建具)							
1建具改修	W1108×H2998 建付け調整 マーカ・カット交換	1	か所				
1建具改修	W1124×H2998 建付け調整 マーカ・カット交換	1	か所				
1建具改修	W1159×H2998 建付け調整 マーカ・カット交換	1	か所				
1建具改修	W1172×H2998 建付け調整 マーカ・カット交換	2	か所				
1建具改修	W1199×H2998 建付け調整 マーカ・カット交換	1	か所				
1建具改修	W1222×H2998 建付け調整 マーカ・カット交換	4	か所				
SW L1-4 建具改修	W1222×H2998 框歪み矯正 マーカ・カット・ガ・ト・ローラー受け交換 ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図2)	1	か所				
SW L1-11 建具改修	W1222×H2374 框歪み矯正 マーカ・カット・ガ・ト・ローラー受け交換 ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図2)	1	か所				
CW L1-06 固定ガリ改修	W1165×H2983 新規羽・つなぎ材・枠: ガルス製厚1.6新設 (外部鋼製建具詳細図3)	1	か所				
CW L1-06 開きガリ障子新設	W1222×H2998 障子のみ新規交換 ガルス製 フラス素樹脂焼付塗装 (外部鋼製建具詳細図4)	1	か所				
CW L1-3 大型両引戸改修	W4905×H2984 下部レール調整(既存利用) (外部鋼製建具詳細図6)	1	か所				

建築工事 細目別内訳

18

美術館改修工事		外部鋼製建具改修				改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
CW L1-3 大型両引戸改修	W4905×H2984 障子のみ新設 ガルス製 フラス素樹脂焼付塗装 戸車・カーテン錠交換 下部レール調整(既存利用) ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図6)	1	か所				
CW L1-3 2 片開き扉改修	W1207.5×H2997 建付け調整 マーカ・カット交換 下部ガルスFB-6×44新設 上部ガルスFB-6×44新設 両側部ガルスFB-6×44新設 フラス素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図8)	2	か所				
SDWE C1-2 片引き扉改修	W1470×H2998 下部ガルスFB-6×100新設 上部ガルスFB-6×50新設 両側部ガルスFB-6×50新設 フラス素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図12)	1	か所				
SDWE C1-2 既存腐食部改修	W360×H300 PL-1.6 既存部と溶接後サンド-掛け (外部鋼製建具詳細図12)	1	か所				
既存枠腐食部改修	H200程度 既存と同じ形 PL-1.6 既存部と溶接後サンド-掛け (外部金属部分立面図5)	3	か所				
SG22 片開き扉改修	W630×H1230程度 サムターソ/シリング-錠前の交換	1	か所				
押縁新設	ガルス製 FB-6×44 フラス素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5-12)	4.3	m				
押縁新設	ガルス製 FB-6×50 フラス素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5)	64.9	m				
SDW-M1 FIX下部枠新設	ガルス製 FB-3×50 フラス素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図11)	1.3	m				
枠新設	ガルス製 FB-6×34 フラス素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5-8)	18.3	m				
枠新設	ガルス製 FB-6×50 フラス素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図7-10-12)	21.1	m				

横須賀美術館外壁その他改修工事  
建築工事 細目別内訳

19

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
枠新設	アルミ製 FB-6×75 ガラス樹脂焼き付塗装仕上 (外部金属部分立面図5)	3	m			
SG-101 ガラス新設	W1800×H500 アルミ製 ガラス樹脂焼き付塗装仕上 枠:L-50×50×6 ルーバー:FB-3×32 縦支柱:PL-1.5曲げ 3本 (外部鋼製建具詳細図13)	1	か所			
(その他)						
建具押縁前 アルミ舗装	W150 厚30	96.2	m			
建具押縁前 PCJ ルーバー取付	W150	198	m			
ケーリング 一時撤去 再取付	W1000×L6000 (外壁改修キーフラン)	1	か所			
SW L1-4 ガラス一時撤去 再取付け	W1154×H2917 ガラス回りシリング 共 (外部鋼製建具詳細図2)	1	枚			
SW L1-11 ガラス一時撤去 再取付け	W1154×H2374 ガラス回りシリング 共 (外部鋼製建具詳細図2)	1	枚			
CW L1-3 ガラス一時撤去 再取付け	W2352.5×H2789 ガラス回りシリング 共 (外部鋼製建具詳細図6)	2	枚			
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(建具) 塗装面1%:光面漫透型プライマー 塗装面5%:ボリバーチ共 鉄鋼面 鑄止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)	1,075	m <sup>2</sup>			
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(幕板) 塗装面1%:光面漫透型プライマー 塗装面5%:ボリバーチ共 鉄鋼面 鑄止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)	630	m <sup>2</sup>			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	19.6	m			

建築工事 細目別内訳

20

美術館改修工事		外部鋼製建具改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10 L34~85	19.6	m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	53.9	m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10	51.6	m			
シリング	一般部 シリコン系(SR-1) 10×10	1,151	m			
(庇ルーバー改修)						
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(ルーバー柱含む) 塗装面1%:光面漫透型プライマー 塗装面5%:ボリバーチ共 鉄鋼面 鑄止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)	493	m <sup>2</sup>			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10 打替え部	197	m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 20×10 新設部	204	m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 30×10 打替え部	102	m			
ガラスクリーニング	竣工時部分清掃内外(足場あり)代用 ガラス庇面	397				
計						

横須賀美術館外壁その他改修工事  
建築工事 細目別内訳

21

美術館改修工事		低層部屋根改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シリング撤去	集積共 10×10	52.2	m			
シリング撤去	集積共 20×10	402	m			
シリング撤去	集積共 W20×厚10 目地シリコン部	37.3	m			
補修シリコンシリング シリング撤去	W55×厚10 11.4m W60×厚10 5.0m W20×厚5 L115 2か所 W55×厚10 L201 1か所 W55×厚10 L221 1か所 W60×厚10 L150 2か所 W90×厚10 L160 1か所 笠木ジョイント W55×厚10 L296 3か所 総計 18.4m 集積共	1	式			
(屋根)						
既存屋根撤去	W420 厚0.7 キャップ共撤去 集積共 (各部詳細図-5)	6.2	m			
水切り撤去	延W140 カーブミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)	0.4	m			
雨押え(水上)撤去	延W260 カーブミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)	0.4	m			
雨押え(ケバ)撤去	W30×H60~140 カーブミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)	6.4	m			
樋端部面戸撤去	W150×H110 カーブミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)	1	か所			
笠木撤去	W200×H85/50 ヌチル製 集積共 (各部詳細図-4)	49.1	m			
計						

建築工事 細目別内訳

22

美術館改修工事		低層部屋根改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(塗膜防水)						
超速硬化 リタ塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 リ・ル・システム同等品	930	m <sup>2</sup>			
雨押え・水切り 超速硬化 リタ塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 (断熱材無し) リ・ル・システム同等品 (矢視)	54.5	m <sup>2</sup>			
笠木 超速硬化 リタ塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 (断熱材無し) リ・ル・システム同等品 (矢視)	18.5	m <sup>2</sup>			
樋 超速硬化 リタ塗膜防水	2.0kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 SPM-200SK工法同等品 (矢視)	89.9	m <sup>2</sup>			
(テープ張り)						
雨押え アーチルゴムテープ張り	L20~L296 幅100程度	21.5	m			
水切端部 アーチルゴムテープ張り	幅100程度	66.8	m			
笠木端部 アーチルゴムテープ張り	幅100程度	6.2	m			
キャップ部 アーチルゴムテープ張り	幅100程度	1,727	m			
雨押え端部 アーチルゴムテープ張り	幅100程度	242	m			
シリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10 再充填工法 笠木端部	52.5	m			

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

23

美術館改修工事		低層部屋根改修			改修	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング	一般部 変成シコーン系 (MS-2) 20×10 再充填工法	245	m			
シーリング	一般部 ポリルターン系 (PU-2) 20×10 再充填工法	60.5	m			
シーリング	一般部 シコーン系 (SR-1) 20×10 再充填工法	102	m			
シーリング	一般部 ポリルターン系 (PU-2) 20×10 再充填工法 笠木ジョイント部	0.4	m			
シーリング 充填工法	PU-2 30×20	169	m			
シーリング 充填工法	PU-2 40×15	108	m			
シーリング 充填工法	PU-2 50×15	54.6	m			
シーリング	一般部 ポリルファイド系 (PS-2) 20×10 雨押え小口端部・樋小口端部堅・ 笠木ジョイント部・雨押えジョイント部	13.1	m			
(屋根)						
屋根新設	W420 カーブミ厚0.7 キャップ 共 マッターラーブ7型同等品 (各部詳細図-5)	6.2	m			
水切り新設	延W140 カーブミ厚0.7 (各部詳細図-5)	0.4	m			
雨押え(水上)新設	延W260 カーブミ厚0.7 (各部詳細図-5)	0.4	m			
雨押え(ケル)新設	W30×H60~140 カーブミ厚0.7 (各部詳細図-5)	6.4	m			
樋端部面戸新設	W150×H110 カーブミ厚0.7 (各部詳細図-5)	1	か所			
矢沢 落ち葉除け スチール防塵網	W400×D250×H100 四角形 スチール巻甲金網 元旦ビニール 防塵網同等品 (各部詳細図-5)	11	か所			

## 建築工事 細目別内訳

24

## 建築工事 細目別内訳

美術館改修工事		光庭改修	改修			
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シリング	一般部 变成シリコン系(MS-2)20×10 打替え部	17.2	m			
シリング	一般部 变成シリコン系(MS-2)20×10 新設部	28.2	m			
PCP ロック	W100×D600×厚40 根太上部:樹脂製ガブレーリ共 ガブレーリ同等品	93.3	m <sup>2</sup>			
PCP ロック 脱気装置切り欠き 手間		1	か所			
PCP ロック下地 鋼製二重床	大引用鋼材:厚1.6 ハット型 H30×W40/70.8 溶融亜鉛めっき@400程度 根太用鋼材:厚1.6 ハット型 H30×W45/81 溶融亜鉛めっき@600程度 大引き受け:受け金具・設置ヘンス ヘンス@400×600	93.3	m <sup>2</sup>			
超速硬化 ルタ塗膜防水	X1-H 厚3.0mm/m <sup>2</sup> 程度 通気緩衝工法	88.2	m <sup>2</sup>			
サッ 超速硬化 ルタ塗膜防水	W30+H20 X2-H 厚2.0mm/m <sup>2</sup> 程度 密着工法	17.2	m			
立上り 超速硬化 ルタ塗膜防水	W40+H40 X2-H 厚2.0mm/m <sup>2</sup> 程度 密着工法	28.2	m			
排水溝桟底 超速硬化 ルタ塗膜防水	X2-H 厚2.0mm/m <sup>2</sup> 程度 密着工法	5.1	m <sup>2</sup>			
排水溝桟立上り 超速硬化 ルタ塗膜防水	X2-H 厚2.0mm/m <sup>2</sup> 程度 密着工法	16	m <sup>2</sup>			
横引き配管 ルタゴム系塗膜 防水	100×施工可能範囲まで 厚1.0mm/m <sup>2</sup> 程度	1	か所			
脱気装置	メタルス製	1	か所			
下地調整用 エボキジ樹脂モルタル	厚0.5 平部	95	m <sup>2</sup>			

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

27

## 建築工事 細目別内訳

28

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

29

改修		サイン改修					美術館改修工事
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
EX-01-1 ~ 4 サイン屋外 塗ビシート貼り	W980×H980 長耐候インクジェット印刷 (屋外サイン改修詳細図1)	4	か所				
EX-02-1 サイン屋外 塗ビシート貼り	W4780×H780 長耐候インクジェット印刷 (屋外サイン改修詳細図2)	1	か所				
EX-02-2 サイン屋外 塗ビシート貼り	W1180×H780 長耐候インクジェット印刷 (屋外サイン改修詳細図3)	1	か所				
EX-05 サイン屋外 塗ビシート貼り	W480×H1000 長耐候インクジェット印刷 (屋外サイン改修詳細図3)	1	か所				
EX-06 サイン屋外 塗ビシート貼り	W1180×H1050両面 長耐候インクジェット印刷 (屋外サイン改修詳細図4)	1	か所				
EX-07 サイン屋外 塗ビシート貼り	W2380×H780 長耐候インクジェット印刷 (屋外サイン改修詳細図4)	1	か所				
サイン下部 ステルス巾木	FB-3×200 ルクボンド止め	28.5	m				
シリング	一般部 变成シリコーン系 (MS-2)20×10 新設部	28.5	m				
ステルス巾木 下地補修 錆止め塗料塗り	GL面からH200 鉄鋼面 錆止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(フッ素)	5.7	m <sup>2</sup>				
耐候性塗料 (DP)塗り	既存金属板面 光面漫透型プライマー、ポリマー共 鉄鋼面 錆止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(フッ素)	34.4	m <sup>2</sup>				
計							

## 建築工事 細目別内訳

30

## 横須賀美術館外壁その他改修工事 建築工事 細目別内訳

31

直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し (屋上防水改修)		1,064	m <sup>2</sup>			
墨出し(外壁改修)	タイル・瓦外塗替等 一般	47.1	m <sup>2</sup>			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	1,064	m <sup>2</sup>			
壁面 養生C	壁面ブルーシートH1000	45.4	m <sup>2</sup>			
養生(外壁改修)		779	m <sup>2</sup>			
養生(内部改修)	塗装塗替え程度 塗装改修用	1,294	m <sup>2</sup>			
養生(外壁改修)	建具壁改修用	311	m <sup>2</sup>			
計						

## 建築工事 別紙明細

直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	94.6	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (外壁改修)		779	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (内部改修)	塗装塗替え程度 塗装改修用	1,294	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (外壁改修)	建具壁改修用	311	m <sup>2</sup>			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用120日賃料 修理費含む 12m未満 -	2,032	m <sup>2</sup>			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用120日賃料 修理費含む -	325	m			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 - 外部仕上足場用	59.4	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 - 外部仕上足場用	382	m <sup>2</sup>			
計						

直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内部足場		1	式			別紙 00-0005
枠組本足場 (手すり先行方式)	建柱 900×1700 布柱500×240 供用60日賃料 修理費含む 12m未満 開口部外側：単管外挑足場部代用	142	m <sup>2</sup>			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用60日賃料 修理費含む - 開口部外側用	20.4	m			
移動式足場 (ローリングタワー)	W=1.5 H=5.4又は5.0 3段 期間2カ月 代用 開口部内側用	2	台			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0006
ネット状養生シート	防炎 類 110日 掛け手間・賃料・基本料・修理費 含む	1,409	m <sup>2</sup>			
小幅ネット	防炎ガリエスル 110日 掛け手間・賃料・基本料・修理費 含む	332	m			
金網式養生枠	110日 掛け手間・賃料・基本料・修理費 含む	623	m <sup>2</sup>			
計						

## 建築工事 別紙明細

直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0007
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建柱幅900(二枚布)	2,032	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	325	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建 外部仕上足場用	59.4	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建 外部仕上足場用	382	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建柱幅900(二枚布) 開口部外側用	142	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式) 開口部外側用	20.4	m			
仮設材運搬 (シートネット類)		1,409	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (小幅ネット)		332	m			
仮設材運搬 (金網式養生枠)		623	m <sup>2</sup>			
計						

美術館改修工事		発生材処理			運搬	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み		1	式			別紙 00-0008
発生材積込み コンクリート塊	コンクリート類 人力	2.1	m3			
発生材積込み 金属くず	ホーボー・木材類 人力	1.9	m3			
発生材積込み 安定型混合廃棄物	ホーボー・木材類 人力	0.2	m3			
計						
発生材運搬		1	式			別紙 00-0009
撤去材運搬 コンクリート塊	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 10.5km以下	2.1	m3			
撤去材運搬 金属くず	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 10.5km以下	1.9	m3			
撤去材運搬 安定型混合廃棄物	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうホーボー類 DID区間有り 10.5km以下	0.2	m3			
計						

## 建築工事 別紙明細

美術館改修工事		発生材処理			処分	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材処分		1	式			別紙 00-0010
コンクリート塊	30cm以下 無筋	4.8	t			
金属くず		0.5	m3			
安定型混合廃棄物		0.2	m3			
計						

## 換価格充当品 明細

## 換価格充当品 別紙明細

## 仕分け1 内訳

1

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建築工事	美術館改修工事 直接仮設					
養生		1	式			別紙 00-0002
壁面 養生C	壁面アルシートH1000	45.4	m <sup>2</sup>	1,600	72,640	
建築工事	美術館改修工事 外壁その他改修 撤去					
谷内六郎館 外壁下部 スケルトン撤去	H50 集積共	32.5	m	1,200	39,000	
U字側溝接続部 側板切り欠き撤去	W150×H120 集積共	4	か所	11,000	44,000	
ケイカル板撤去	100角 厚6.0 下地共 集積共 (その他改修詳細図)	2	か所	2,130	4,260	
建築工事	美術館改修工事 外壁その他改修 改修					
ひび割れ部補修	グラック樹脂注入工法 サグー掛けW100共	69.9	m	8,630	603,237	
コンクリート欠損補修	60×110 充填工法 サグー掛け共	1	か所	2,020	2,020	
コンクリート欠損補修	60×60 充填工法 サグー掛け共	1	か所	1,440	1,440	
コンクリート欠損補修	100×1900 充填工法 サグー掛け共	1	か所	23,900	23,900	
コンクリート欠損補修	100×900 充填工法 サグー掛け共	1	か所	11,400	11,400	
コンクリート欠損補修	400×340 充填工法 サグー掛け共	1	か所	19,200	19,200	
コンクリート欠損補修	50×150 充填工法 サグー掛け共	1	か所	2,450	2,450	

## 仕分け1 内訳

2

公開						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート欠損補修	st見切り錆部 L1970 モルタル補修	1	か所	3,590	3,590	
外壁等塗装改修	打放しコンクリート面 超耐久水性フッ素樹脂クリヤー塗料系 コンクリート仕上げ 既存塗膜下地(ケイ酸質系)処理共	527	m <sup>2</sup>	10,200	5,375,400	
外壁等塗装改修	打放しコンクリート面 超耐久水性フッ素樹脂クリヤー塗料系 コンクリート仕上げ 既存塗膜下地(ケイ酸質系)処理共 既存外壁コンクリートのぜい弱部、 表面の小豆板を樹脂モルタルにて補修	43.5	m <sup>2</sup>	13,900	604,650	
外壁等塗装改修	モルタル塗り 鋼面 超耐候・超低汚染バオマス樹脂 複合無機塗料 既存塗膜下地(アクリルシリコン樹脂塗料) 処理共 下地調整(ミクファンド)共	131	m <sup>2</sup>	7,880	1,032,280	
耐候性塗料 (DP)塗り	st見切り錆部 L1970 下地調整(ルリ)共 鉄鋼面 錆止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(フッ素)	1	か所	50,000	50,000	
飛散防止フィルム貼		79.1	m <sup>2</sup>	5,400	427,140	
手摺腐食部 補修	FB-6×44 L115 両面 4辺全溶接 ケン・はつり・モルタル補修共	288	か所	12,900	3,715,200	
屋外手摺A ジンクリッジ <sup>®</sup> イント	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 ローハル改修工法(ローハル+ローハル) 同等品	18.9	m <sup>2</sup>	5,010	94,689	
屋外手摺B ジンクリッジ <sup>®</sup> イント	1液型 アクリル樹脂系 下地調整RB種 ローハル改修工法(ローハル+ローハル) 同等品	214	m <sup>2</sup>	5,010	1,072,140	

## 仕分け1 内訳

3

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
屋外手摺C ジンクリッジ <sup>®</sup> イント	1液型アクリル樹脂系 下地調整RB種 ローハル改修工法(ローハル+ローハル) 同等品	134	m <sup>2</sup>	5,010	671,340	
屋外手摺D ジンクリッジ <sup>®</sup> イント	1液型アクリル樹脂系 下地調整RB種 ローハル改修工法(ローハル+ローハル) 同等品	299	m <sup>2</sup>	5,010	1,497,990	
既存樋蓋 歪み矯正のうえ 再利用	W575	46.4	m	6,000	278,400	
タイプ A 新規補強材	15+30+15 ボ型 ステンレス製 L1085	64	か所	13,200	844,800	
タイプ B 新規補強材	15+30+15 ボ型 ステンレス製 L900	4	か所	13,200	52,800	
タイプ C・D 新規補強材	15+30+15 ボ型 ステンレス製 L1103	4	か所	13,200	52,800	
タイプ E 新規補強材	15+30+15 ボ型 ステンレス製 L800	2	か所	13,200	26,400	
タイプ F 新規補強材	15+30+15 ボ型 ステンレス製 L155	4	か所	9,600	38,400	
端部 新規補強材	15+30+15 ボ型 ステンレス製 L70	38	か所	9,600	364,800	
端部 新規補強材	15+30+15 ボ型 ステンレス製 L60+485+60	21	か所	13,200	277,200	
端部 新規補強材	15+30+15 ボ型 ステンレス製 L145+485+145	4	か所	13,200	52,800	
ケーリング <sup>®</sup>	溝幅150 ボルト製 溶融亜鉛メッキ棒共 (その他改修詳細図)	7.5	m	18,000	135,000	
ケイカル板新設	100角 厚6.0 下地共 堅樋φ47.2切欠き (その他改修詳細図)	2	か所	18,600	37,200	

## 仕分け1 内訳

4

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
堅樋改修	φ47.2 ボルト製 L50 (その他改修詳細図)	2	か所	33,000	66,000	
軒天 EP-G塗装	100×100 ケイカル板面 バテ処理	2	か所	2,130	4,260	
軒天 EP-G塗替え	ケイカル板面 下地調整共	13.5	m <sup>2</sup>	3,590	48,465	
外皮開口塞ぎ ボート <sup>®</sup>	楕円曲面最大幅1200 エジソンボート <sup>®</sup> 厚6+6 新規ジヨイント部総目処理 (曲面1200φ開口部塞ぎ詳細図)	1	か所	71,900	71,900	
外皮開口塞ぎ 下地LGS	楕円曲面最大幅1200 横M <sup>8</sup> -Ø151 縦LGS野縁受け2本 四周シナ20×40 (曲面1200φ開口部塞ぎ詳細図)	1	か所	122,000	122,000	
外皮開口塞ぎ ボート <sup>®</sup>	φ600 エジソンボート <sup>®</sup> 厚6+6 新規ジヨイント部総目処理 (平面600φ開口部塞ぎ詳細図)	1	か所	50,100	50,100	
外皮開口塞ぎ 下地LGS	φ600 縦40×40Ø303 四周シナ20×40	1	か所	86,300	86,300	
開口塞ぎ アルミハシング <sup>®</sup> タル	φ750 着脱可能 ハシングタル φ669 千鳥 厚3.0 アルミ製 アクリル焼付塗装 4か所 バネ固定用マグネット :ホルダーフックマグネット JDM-ND-32-M6 同等品以上 下地アルミハシング <sup>®</sup> タル共 (平面750φ開口部一時塞ぎ詳細図)	1	か所	325,000	325,000	
外皮開口塞ぎ アクリルシリコン弾性塗料	楕円曲面最大幅1200 ボート面 (曲面1200φ開口部塞ぎ詳細図)	1	か所	50,100	50,100	
外皮開口塞ぎ アクリルシリコン弾性塗料	φ600 ボート面 (平面600φ開口部塞ぎ詳細図)	1	か所	35,700	35,700	

## 仕分け1 内訳

5

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
内皮開口塞ぎ 鉄板	楕円曲面最大幅1200 スチール製厚2.3 DP(3級) 現場カット溶接後ガラフイダ-処理の上 ホリバテ研磨 (曲面1200φ開口部塞ぎ詳細図)	1	か所	359,000	359,000	
内皮開口塞ぎ 鉄板	φ600 スチール製厚2.3 UE 下地:□-20×40×厚3.2 現場カット溶接後ガラフイダ-処理の上 ホリバテ研磨 (平面600φ開口部塞ぎ詳細図)	1	か所	230,000	230,000	
建築工事	美術館改修工事 外部鋼製建具改修 撤去					
CW L1-06 固定ガラリ羽撤去	W1165×H2983 羽(点線部)を切除 集積共 (外部鋼製建具詳細図3)	1	か所	60,000	60,000	
CW L1-06 開きガラリ障子撤去	W1222×H2998 集積共 (外部鋼製建具詳細図4)	1	か所	60,000	60,000	
CW L1-3 大型両引戸撤去	W4905×H2984 障子框のみ撤去 集積共 (外部鋼製建具詳細図6)	1	か所	100,000	100,000	
CW L1-3 片開き扉撤去	W1207.5×H2997 下部ステンレスFB-6×44撤去 上部ステンレスFB-6×44撤去 両側部ステンレスFB-6×44撤去 (外部鋼製建具詳細図8)	2	か所	100,000	200,000	
SDW-M1 FIX下部押縁撤去	W1249×H3019 下部FB-3×50撤去 (外部鋼製建具詳細図11)	1	か所	100,000	100,000	
SDWE C1-2 片引き扉撤去	W1470×H2998 下部ステンレスFB-6×100撤去 上部ステンレスFB-6×50撤去 両側部ステンレスFB-6×50撤去 (外部鋼製建具詳細図12)	1	か所	100,000	100,000	
SDWE C1-2 既存腐食部撤去	W360×H300 PL-1.6 集積共 (外部鋼製建具詳細図12)	1	か所	40,000	40,000	
既存枠腐食部撤去	H200程度 集積共 (外部金属部分立面図5)	3	か所	30,000	90,000	

## 仕分け1 内訳

6

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
下部押縁切除	FB-6×44 集積共 ①正面からカッターの刃を入れ 押縁上半分を切除することでサシ本 体との点溶接の箇所を把握。 ②点溶接の位置で上から刃を入れ 下半分を切除。 (外部鋼製建具詳細図5・12)	4.3	m	1,500	6,450	
下部押縁切除	FB-6×50 集積共 ①正面からカッターの刃を入れ 押縁上半分を切除することでサシ本 体との点溶接の箇所を把握。 ②点溶接の位置で上から刃を入れ 下半分を切除。 (外部鋼製建具詳細図5)	64.9	m	1,500	97,350	
SDW-M1 FIX下部枠撤去	FB-3×50 集積共 集積共 (外部鋼製建具詳細図11)	1.3	m	1,500	1,950	
枠切除	FB-6×34 集積共 (外部鋼製建具詳細図5・8)	18.3	m	1,500	27,450	
枠切除	FB-6×50 集積共 (外部鋼製建具詳細図7・10・12)	21.1	m	1,500	31,650	
枠切除	FB-6×75 集積共 (外部金属部分立面図5)	3	m	1,500	4,500	
SG-101 スチールガラリ撤去	W1800×H500 枠共撤去 集積共 (外部鋼製建具詳細図13)	1	か所	40,000	40,000	
建具押縁前 アスファルト舗装撤去	W150 厚30 片面カッタ- 集積共	96.2	m	3,940	379,028	
グレーリング新設部 アスファルト舗装撤去	W150 厚30 両面カッタ- 集積共 (その他改修詳細図)	7.5	m	3,940	29,550	
建具押縁前 PCロック一時撤去	W600 1列分	198	m	7,560	1,496,880	
建築工事	美術館改修工事 外部鋼製建具改修 改修					

## 仕分け1 内訳

7

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
※1建具改修	W1108×H2998 建付け調整 モア・ガスケット交換	1	か所	60,000	60,000	
※1建具改修	W1124×H2998 建付け調整 モア・ガスケット交換	1	か所	60,000	60,000	
※1建具改修	W1159×H2998 建付け調整 モア・ガスケット交換	1	か所	60,000	60,000	
※1建具改修	W1172×H2998 建付け調整 モア・ガスケット交換	2	か所	60,000	120,000	
※1建具改修	W1199×H2998 建付け調整 モア・ガスケット交換	1	か所	60,000	60,000	
※1建具改修	W1222×H2998 建付け調整 モア・ガスケット交換	4	か所	60,000	240,000	
SW L1-4 建具改修	W1222×H2998 框歪み矯正 モア・ガスケット・カットローラー受け交換 ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図2)	1	か所	60,000	60,000	
SW L1-11 建具改修	W1222×H2374 框歪み矯正 モア・ガスケット・カットローラー受け交換 ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図2)	1	か所	50,000	50,000	
CW L1-06 固定ガリ改修	W1165×H2983 新規羽・つなぎ材・枠: スチール製厚1.6新設 (外部鋼製建具詳細図3)	1	か所	1,200,000	1,200,000	
CW L1-06 開きガリ障子新設	W1222×H2998 障子のみ新規交換 ステンレス製 フッ素樹脂焼付塗装 (外部鋼製建具詳細図4)	1	か所	932,000	932,000	
CW L1-3 大型両引戸改修	W4905×H2984 下部レール調整(既存利用) (外部鋼製建具詳細図6)	1	か所	50,000	50,000	
CW L1-3 大型両引戸改修	W4905×H2984 障子框のみ新設 ステンレス製 フッ素樹脂焼付塗装 戸車・シムターン錠交換					

## 仕分け1 内訳

8

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	下部レール調整(既存利用) ガラス工事別計上 (外部鋼製建具詳細図6)	1	か所	986,000	986,000	
CW L1-3※2 片開き扉改修	W1207.5×H2997 建付け調整 モア・ガスケット交換 下部ステンレスFB-6×44新設 上部ステンレスFB-6×44新設 両側部ステンレスFB-6×44新設 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図8)	2	か所	493,000	986,000	
SDWE C1-2 片引き扉改修	W1470×H2998 下部ステンレスFB-6×100新設 上部ステンレスFB-6×50新設 両側部ステンレスFB-6×50新設 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図12)	1	か所	644,000	644,000	
SDWE C1-2 既存腐食部改修	W360×H300 PL-1.6 既存部と溶接後シングル掛け (外部鋼製建具詳細図12)	1	か所	60,000	60,000	
既存枠腐食部改修	H200程度 既存と同じ形 PL-1.6 既存部と溶接後シングル掛け (外部金属部分立面図5)	3	か所	60,000	180,000	
SG22 片開き扉改修	W630×H1230程度 シムターン/シングル-錠前の交換	1	か所	20,000	20,000	
押縁新設	ステンレス製 FB-6×44 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5・12)	4.3	m	48,500	208,550	
押縁新設	ステンレス製 FB-6×50 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5)	64.9	m	26,500	1,719,850	
SDW-M1 FIX下部枠新設	ステンレス製 FB-3×50 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図11)	1.3	m	82,800	107,640	
枠新設	ステンレス製 FB-6×34 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図5・8)	18.3	m	27,600	505,080	
枠新設	ステンレス製 FB-6×50 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部鋼製建具詳細図7・10・12)	21.1	m	18,900	398,790	
枠新設	ステンレス製 FB-6×75 フッ素樹脂焼き付塗装仕上 (外部金属部分立面図5)	3	m	52,200	156,600	

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
SG-101 ガラス新設	W1800×H500 ステンレス製 ガラス樹脂焼き付塗装仕上 枠:L-50×50×6 ルバーア:FB-3×32 縦支柱:PL-1.5曲げ 3本 (外部鋼製建具詳細図13)	1	か所	1,150,000	1,150,000	
建具押縁前 アスファルト舗装	W150 厚30	96.2	m	4,260	409,812	
建具押縁前 PCアーリック再取付	W150	198	m	8,630	1,708,740	
ガラス一時撤去 再取付	W1000×L6000 (外壁改修キーパン)	1	か所	75,000	75,000	
SW L1-4 ガラス一時撤去 再取付け	W1154×H2917 ガラス廻りシーリング 共 (外部鋼製建具詳細図2)	1	枚	223,000	223,000	
SW L1-11 ガラス一時撤去 再取付け	W1154×H2374 ガラス廻りシーリング 共 (外部鋼製建具詳細図2)	1	枚	223,000	223,000	
CW L1-3 ガラス一時撤去 再取付け	W2352.5×H2789 ガラス廻りシーリング 共 (外部鋼製建具詳細図6)	2	枚	363,000	726,000	
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(建具) 塗装面1%:セビ 面浸透型プライマー 塗装面5%:ボリマ共 鉄鋼面 鋼止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)	1,075	m <sup>2</sup>	5,980	6,428,500	
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(幕板) 塗装面1%:セビ 面浸透型プライマー 塗装面5%:ボリマ共 鉄鋼面 鋼止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)	630	m <sup>2</sup>	5,980	3,767,400	
耐候性塗料 (DP)塗り	屋外金属面(ルバーカラム) 塗装面1%:セビ 面浸透型プライマー 塗装面5%:ボリマ共 鉄鋼面 鋼止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(ガラス)	493	m <sup>2</sup>	5,980	2,948,140	
建築工事	美術館改修工事 低層部屋根改修 撤去					

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
補修シリコーンアリッジ シリング撤去	W55×厚10 11.4m W60×厚10 5.0m W20×厚5 L115 2か所 W55×厚10 L201 1か所 W55×厚10 L221 1か所 W60×厚10 L150 2か所 W90×厚10 L160 1か所 笠木ジョント W55×厚10 L296 3か所 総計 18.4m 集積共	1	式		35,000	
既存屋根撤去	W420 厚0.7 キャップ 共撤去 集積共 (各部詳細図-5)	6.2	m	15,200	94,240	
水切り撤去	延W140 ガラスルミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)	0.4	m	6,200	2,480	
雨押え(水上)撤去	延W260 ガラスルミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)	0.4	m	6,200	2,480	
雨押え(ガラス)撤去	W30×H60~140 ガラスルミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)	6.4	m	6,200	39,680	
樋端部面戸撤去	W150×H110 ガラスルミ厚0.7 集積共 (各部詳細図-5)	1	か所	86,600	86,600	
笠木撤去	W200×H85/50 スチール製 集積共 (各部詳細図-4)	49.1	m	7,080	347,628	
建築工事	美術館改修工事 低層部屋根改修 改修					
超速硬化 ルタク塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 (断熱材無し) リ・ルーフシステム同等品	930	m <sup>2</sup>	17,900	16,647,000	
雨押え・水切り 超速硬化 ルタク塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 (断熱材無し) リ・ルーフシステム同等品 (矢視①③④⑤⑥⑧⑨⑩ ⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰)	54.5	m <sup>2</sup>	13,700	746,650	
笠木 超速硬化 ルタク塗膜防水	1.5kg/m <sup>2</sup> 下地処理・高反射トップコート共 (断熱材無し) リ・ルーフシステム同等品 (矢視⑬⑭⑮⑯⑰)	18.5	m <sup>2</sup>	13,700	253,450	

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
種 超速硬化 ガルタ塗膜防水	2.0kg/m2 下地処理・高反射トップコート共 SPM-200SK工法同等品 (矢視②⑤⑪)	89.9	m <sup>2</sup>	15,700	1,411,430	
雨押え アーチルコムテープ張り	L20～L296 幅100程度	21.5	m	1,400	30,100	
水切端部 アーチルコムテープ張り	幅100程度	66.8	m	1,400	93,520	
笠木端部 アーチルコムテープ張り	幅100程度	6.2	m	1,400	8,680	
キャップ部 アーチルコムテープ張り	幅100程度	1,727	m	1,400	2,417,800	
雨押え端部 アーチルコムテープ張り	幅100程度	242	m	1,400	338,800	
シーリング充填工法	PU-2 30×20	169	m	1,400	236,600	
シーリング充填工法	PU-2 40×15	108	m	2,200	237,600	
シーリング充填工法	PU-2 50×15	54.6	m	3,300	180,180	
屋根新設	W420 カーブルミ厚0.7 キャップ共 マタラーレ-77型同等品 (各部詳細図-5)	6.2	m	36,400	225,680	
水切り新設	延W140 カーブルミ厚0.7 (各部詳細図-5)	0.4	m	13,400	5,360	
雨押え(水上)新設	延W260 カーブルミ厚0.7 (各部詳細図-5)	0.4	m	22,800	9,120	
雨押え(ケバ)新設	W30×H60～140 カーブルミ厚0.7 (各部詳細図-5)	6.4	m	22,800	145,920	
種端部面戸新設	W150×H110 カーブルミ厚0.7 (各部詳細図-5)	1	か所	13,700	13,700	

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
矢視②	W400×D250×H100 四角形 ステンレス亀甲金網 元旦ビューティ 防塵網同等品 (各部詳細図-5)	11	か所	100,000	1,100,000	
落ち葉除け ステンレス防塵網	W300×D100×H150 四角形 ステンレス亀甲金網 元旦ビューティ 防塵網同等品 (各部詳細図-5)	4	か所	89,000	356,000	
矢視⑤	W300×D150×H120 四角形 ステンレス亀甲金網 元旦ビューティ 防塵網同等品 (各部詳細図-5)	4	か所	94,600	378,400	
笠木新設	W200×H85/50 ミミ製厚0.7 (各部詳細図-4)	49.1	m	18,000	883,800	
建築工事	美術館改修工事 光庭改修 撤去					
シーリング撤去	集積共 20×10	17.2	m	840	14,448	
既存床 PCアーリック撤去	W100×D600×厚100 集積共	93.3	m <sup>2</sup>	5,000	466,500	
既存床 モルタル撤去	厚30 集積共	89.4	m <sup>2</sup>	3,500	312,900	
建築工事	美術館改修工事 光庭改修 改修					
PCアーリック	W100×D600×厚40 根太上部:樹脂製ガーリレル共 エポキシ樹脂同等品	93.3	m <sup>2</sup>	38,000	3,545,400	
PCアーリック 脱気装置切り欠き 手間		1	か所	75,000	75,000	
PCアーリック下地 鋼製二重床	大引用鋼材:厚1.6 ハット型 H30×W40/70.8 溶融亜鉛めっき @400程度 根太用鋼材:厚1.6 ハット型 H30×W45/81 溶融亜鉛めっき @600程度 大引き受け:受け金具・設置ベース・ ベースコム クッションコム等@400×600	93.3	m <sup>2</sup>	58,000	5,411,400	
超速硬化 ガルタ塗膜防水	X1-H 厚3.0mm/m2程度 通気緩衝工法	88.2	m <sup>2</sup>	19,500	1,719,900	

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
サッジ 超速硬化 ルタ塗膜防水	W30+H20 X2-H 厚2.0mm/m2程度 密着工法	17.2	m	2,020	34,744	
立上り 超速硬化 ルタ塗膜防水	W40+H40 X2-H 厚2.0mm/m2程度 密着工法	28.2	m	2,020	56,964	
排水溝底 超速硬化 ルタ塗膜防水	X2-H 厚2.0mm/m2程度 密着工法	5.1	m <sup>2</sup>	10,100	51,510	
排水溝樹立上り 超速硬化 ルタ塗膜防水	X2-H 厚2.0mm/m2程度 密着工法	16	m <sup>2</sup>	10,100	161,600	
横引き配管 ルタゴム系塗膜 防水	φ100×施工可能範囲まで 厚1.0mm/m2程度	1	か所	4,000	4,000	
脱気装置	ステンレス製	1	か所	16,800	16,800	
下地調整用 エボキシ樹脂モルタル	厚0.5 平部	95	m <sup>2</sup>	2,700	256,500	
下地調整用 エボキシ樹脂モルタル	厚0.5 立上り	17.4	m <sup>2</sup>	2,700	46,980	
勾配モルタル	厚10~20	86.3	m <sup>2</sup>	4,500	388,350	
勾配モルタル立ち上げ	W40×H45 面取り加工	28.2	m	3,800	107,160	
美術作品 一時撤去・再設置	600×100×100	1	か所	60,000	60,000	
建築工事	美術館改修工事 サイン改修 撤去					
EX-01-1~4 サイン撤去	W1000×H2100 片面 集積共	4	か所	72,000	288,000	
EX-02-1 サイン撤去	W4800×H1000 片面 集積共	1	か所	72,000	72,000	
EX-02-2 サイン撤去	W1200×H1000 片面 集積共	1	か所	72,000	72,000	

公開						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EX-05 サイン撤去	W500×H1500 片面 集積共	1	か所	72,000	72,000	
EX-06 サイン撤去	W1200×H1920 両面 集積共	1	か所	144,000	144,000	
EX-07 サイン撤去	W2400×H1000 片面 集積共	1	か所	72,000	72,000	
建築工事	美術館改修工事 サイン改修 改修					
EX-01-1~4 サイン屋外 塩ビシート貼り	W980×H980 長耐候イクジエット印刷 (屋外サイン改修詳細図1)	4	か所	38,400	153,600	
EX-02-1 サイン屋外 塩ビシート貼り	W4780×H780 長耐候イクジエット印刷 (屋外サイン改修詳細図2)	1	か所	151,000	151,000	
EX-02-2 サイン屋外 塩ビシート貼り	W1180×H780 長耐候イクジエット印刷 (屋外サイン改修詳細図3)	1	か所	36,000	36,000	
EX-05 サイン屋外 塩ビシート貼り	W480×H1000 長耐候イクジエット印刷 (屋外サイン改修詳細図3)	1	か所	30,000	30,000	
EX-06 サイン屋外 塩ビシート貼り	W1180×H1050 両面 長耐候イクジエット印刷 (屋外サイン改修詳細図4)	1	か所	42,000	42,000	
EX-07 サイン屋外 塩ビシート貼り	W2380×H780 長耐候イクジエット印刷 (屋外サイン改修詳細図4)	1	か所	72,000	72,000	
サイン下部 ステンレス巾木	FB-3×200 カタシボット止め	28.5	m	26,000	741,000	
ステンレス巾木 下地補修 錆止め塗料塗り	GL面からH200 鉄鋼面 錆止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(フ素)	5.7	m <sup>2</sup>	860	4,902	
耐候性塗料 (DP)塗り	既存金属板面 サイン面浸透型プライマー、ボリバテ共 鉄鋼面 錆止め塗料の種別Es種 工程B種 仕上1級(フ素)	34.4	m <sup>2</sup>	3,410	117,304	
計					89,492,161	